

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 52 R1
提出年月日	令和3年10月28日

仕様表に係る補足説明資料

本資料は、【濃縮個別 52 R0】の改訂版（R1）である。改訂内容は以下のとおり。

- 別紙1 添付資料1「仕様表記載例」について、第4回申請にて既出の機種（容器、ポンプ、ファン、フィルタ、主配管、機械装置、計装／放管設備）についても、第5回申請の申請対象設備であることを踏まえ、改めて仕様表記載項目を示すとともに、各仕様表の記載項目について最新版の共通06（R6）を反映した記載へ修正した。
- 別紙1 添付資料2「全社と濃縮の仕様表展開表の比較」について、最新版の共通06（R6）を反映した記載へ修正した。

※【濃縮個別 52 R0】から変更した部分を青字にて示す。

目 次

1. 概要 1
2. 仕様表の記載内容の整理 1

別紙 1 機種別の仕様表の記載方針

1. 概要

本資料は、「[全社共通 06 本文（基本設計方針，仕様表等）](#)，添付書類（計算書，説明書），添付図面で記載すべき事項」（以降「[共通 06](#)」という。）の仕様表の記載方針に基づき，仕様表の記載内容を整理した結果を示し，技術基準適合性，事業変更許可申請書で示した機能・性能が，技術基準等へ適合していることを説明する上で必要な構造・性能等に係る具体的な数値等が仕様表に記載されていることを説明するものである。

2. 仕様表の記載内容の整理

今回の第 5 回申請に係る仕様表の記載内容について，[共通 06](#) で機種別に整理した基本的な記載パターンを基に，濃縮の既認可の記載事項，事業変更許可申請書及び技術基準規則（様式-6, 7）の要求事項及び発電炉の要目表の記載事項を考慮して，記載すべき事項を整理した。

今回の第 5 回申請に係る機種別の仕様表の記載方針を別紙 1 に示す。

別紙 1

機種別の仕様表の記載方針

仕様表記載例 1【機種：容器】

既認可の仕様表	仕様表		要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																				
【既認可仕様表の該当無し】	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロンポンベ (2号中間室, 2号発 回均質室用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>一般継目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/本</td> <td></td> <td>68 以上 (68^{*1})</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPaG</td> <td></td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロン 1301</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td>267.4^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1515^{*1}</td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td>6.0 (6.0^{*3})</td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td>12.0 (12.0^{*3})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>マンガン鋼^{*3}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>本</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>ハロン消火系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>搬送通路 (2号発回均質室前)</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称	—		ハロンポンベ (2号中間室, 2号発 回均質室用)	種類	—		一般継目なし容器	容量	L/本		68 以上 (68 ^{*1})	最高使用圧力	MPaG		5.2	最高使用温度	℃		40	流体等の種類	—		ハロン 1301	臨界管理	—	—	— ^{*2}	主要寸法	外径	mm	267.4 ^{*1}	高さ	mm	1515 ^{*1}	胴部厚さ	mm	6.0 (6.0 ^{*3})	底部厚さ	mm	12.0 (12.0 ^{*3})	主要材料	本体	—	マンガン鋼 ^{*3}	個数	本	19	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロン消火系	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td>ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプ A 用)</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>一般継目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>L/個</td> <td>68 以上 (68[*])</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>外 径</td> <td>mm</td> <td>265.0[*]</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>1500[*]</td> </tr> <tr> <td>胴 部 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (5.5[*])</td> </tr> <tr> <td></td> <td>底 部 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (9.0[*])</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>—</td> <td>マンガン鋼</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>ハロンポンベ (ほう酸水注入系 ポンプ A 用) 消火系</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>EL. 38.80 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名	称		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプ A 用)	種	類	—	一般継目なし容器	容	量	L/個	68 以上 (68 [*])	最	高 使 用 圧 力	MPa	5.2	最	高 使 用 温 度	℃	40	主 要 寸 法	外 径	mm	265.0 [*]	高 さ	mm	1500 [*]	胴 部 厚 さ	mm	□ (5.5 [*])		底 部 厚 さ	mm	□ (9.0 [*])	材	料	—	マンガン鋼	個	数	—	3	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	ハロンポンベ (ほう酸水注入系 ポンプ A 用) 消火系	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	EL. 38.80 m		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	<p>技術基準</p> <p>機能要求② 様式-6,7</p> <p>主な仕様 (詳細設計)</p> <p>容量 個数</p> <p>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</p> <p>第十五条 材料及び 構造</p> <p>最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料</p> <p>○火災の感知及び消火 火災の発生を早期に感知し、消火するために以下の対策を講じる設計とする。</p> <p>・本施設内には、火災の消火に必要な容量を有する消火器等の消火設備を設置する設計とする。</p> <p>・コールドトラップ及び均質槽には、従事者が火災の発生している室に立ち入らずに、早期にかつ確実に消火できるよう遠隔操作により消火を行う設備 (遠隔消火設備) を設置する。</p> <p>遠隔消火設備の起動操作は、中央制御室に加え、2号発回均質室入口付近又は1号均質室入口付近においても操作可能な設計とする。</p> <p>○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。</p> <p>○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。</p> <p>(2) 座屈による破壊の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。</p>	<p>注記 * : 公称値を示す。</p>	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (系統名, 区画等) は記載していない。</p>
		変更前	変更後																																																																																																																						
名称	—		ハロンポンベ (2号中間室, 2号発 回均質室用)																																																																																																																						
種類	—		一般継目なし容器																																																																																																																						
容量	L/本		68 以上 (68 ^{*1})																																																																																																																						
最高使用圧力	MPaG		5.2																																																																																																																						
最高使用温度	℃		40																																																																																																																						
流体等の種類	—		ハロン 1301																																																																																																																						
臨界管理	—	—	— ^{*2}																																																																																																																						
主要寸法	外径	mm	267.4 ^{*1}																																																																																																																						
	高さ	mm	1515 ^{*1}																																																																																																																						
	胴部厚さ	mm	6.0 (6.0 ^{*3})																																																																																																																						
	底部厚さ	mm	12.0 (12.0 ^{*3})																																																																																																																						
主要材料	本体	—	マンガン鋼 ^{*3}																																																																																																																						
	個数	本	19																																																																																																																						
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロン消火系																																																																																																																						
	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)																																																																																																																						
		変更前	変更後																																																																																																																						
名	称		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプ A 用)																																																																																																																						
種	類	—	一般継目なし容器																																																																																																																						
容	量	L/個	68 以上 (68 [*])																																																																																																																						
最	高 使 用 圧 力	MPa	5.2																																																																																																																						
最	高 使 用 温 度	℃	40																																																																																																																						
主 要 寸 法	外 径	mm	265.0 [*]																																																																																																																						
	高 さ	mm	1500 [*]																																																																																																																						
	胴 部 厚 さ	mm	□ (5.5 [*])																																																																																																																						
	底 部 厚 さ	mm	□ (9.0 [*])																																																																																																																						
材	料	—	マンガン鋼																																																																																																																						
個	数	—	3																																																																																																																						
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	ハロンポンベ (ほう酸水注入系 ポンプ A 用) 消火系																																																																																																																						
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	EL. 38.80 m																																																																																																																						
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																																																						

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項 (様式-6,7 等) が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規規制基準に係る新たな要求事項 (様式-6,7 等) として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を備考に記載)

仕様表記載例5【機種：ポンプ】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>表-8 均質・ブレンディング設備の仕様 (2号均質バージ系ロータリポンプ)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号均質バージ系ロータリポンプ</td> <td>区分</td> <td>均質・ブレンディング設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度: 常温 圧力: 大気圧以下</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>油回転式</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>アルミニウム合金 ■■■</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>排気速度 ■■■ m³/h/基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工室内に閉じ込める。 ※インターロックを図-25に示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-9、図-14</td> <td></td> <td>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</td> </tr> </table>	設備機器名称	2号均質バージ系ロータリポンプ	区分	均質・ブレンディング設備	台数	4基			設置場所	2号発回均質室			臨界管理	—			放射線防護	—			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: 大気圧以下		主要設備リストで展開。	型式	油回転式		該当しないため、記載を削除。	主要寸法	幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm			主要材料	アルミニウム合金 ■■■			性能	排気速度 ■■■ m ³ /h/基			核燃料物質の状態	—			その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工室内に閉じ込める。 ※インターロックを図-25に示す。			添付図	図-9、図-14		添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>2号均質バージ系ロータリポンプ^{*8}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>油回転式</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³/h/基</td> <td>■■■</td> <td>■■■</td> </tr> <tr> <td>揚程又は吐出圧力</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>hPa</td> <td>上限: 960 下限: 0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>—</td> <td>排ガス^{*11}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*12}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>アルミニウム合金^{*13}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>基</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>均質バージ系^{*11}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*11}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基</td> <td>1.5^{*11}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>4^{*11}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室^{*11}</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ^{*1}: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 ^{*2}: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 ^{*3}: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 ^{*4}: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 ^{*5}: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 ^{*6}: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 ^{*7}: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 ^{*8}: 本機器は、ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロックの機能を有する設計とする。 ^{*9}: 公称値を示す。 ^{*10}: 真空ポンプであり、揚程又は吐出圧力は設計条件とならないため「—」とする。 ^{*11}: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 ^{*12}: 濃縮度 0.95 %未満のウランを取り扱う機器であり、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 ^{*13}: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	2号均質バージ系ロータリポンプ ^{*8}	—	種類 ^{*2}	—	油回転式	—	容量 ^{*3}	m ³ /h/基	■■■	■■■	揚程又は吐出圧力	—	— ^{*10}	—	最高使用圧力 ^{*4}	hPa	上限: 960 下限: 0	—	最高使用温度 ^{*4}	℃	40	—	流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス ^{*11}	—	臨界管理	—	— ^{*12}	—	主要寸法			変更なし	たて	mm	■■■		横	mm	■■■		高さ	mm	■■■		主要材料			変更なし	ケーシング	—	アルミニウム合金 ^{*13}	—	個数 ^{*6}	基	4	—	取付箇所			変更なし	系統名 (ライン名)	—	均質バージ系 ^{*11}	—	設置床 (室名称) ^{*7}	—	2号発回均質室	—	種類	—	誘導電動機 ^{*11}	—	出力	kW/基	1.5 ^{*11}	—	個数	基	4 ^{*11}	—	取付箇所	—	2号発回均質室 ^{*11}	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条 閉じ込め機能</td> <td>○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工室内に閉じ込めるインターロックを設ける。</td> <td>— (検出器無し)</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工室内に閉じ込めるインターロックを設ける。</td> <td>— (検出器無し)</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込め機能	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工室内に閉じ込めるインターロックを設ける。	— (検出器無し)	第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	第十八条 警報設備等	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工室内に閉じ込めるインターロックを設ける。	— (検出器無し)	<p>(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ^{*1}</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>うず巻形^{*2}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> <td>124.9以上^{*1} (124.9^{*4})</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>揚程^{*2}</td> <td>m</td> <td>91.4以上^{*3} (91.4^{*4})</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.37^{*2}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>65.0^{*2}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>吸入内径</td> <td>mm</td> <td>150^{*4}、^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>吐出内径</td> <td>mm</td> <td>80^{*4}、^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>3 (14.0^{*2}、^{*4})</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>185^{*4}、^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>968^{*3}、^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>704^{*4}、^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ケーシング^{*1}</td> <td>—</td> <td>SC46</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付位置床</td> <td>—</td> <td>EL.29.90 m^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>RB-4-19</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>EL.29.20 m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボンプ法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*1}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>55</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>ポンプと同じ^{*3}</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ^{*1}: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。 ^{*2}: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「巻掛単段うず巻型」と記載。 ^{*3}: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 ^{*4}: 公称値を示す。 ^{*5}: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全巻形」と記載。 ^{*6}: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建設省第93号にて届け出した工事計画書の添付図面「第6-5図 燃料プール冷却浄化系ポンプ外形図」による。 ^{*7}: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼」と記載。 ^{*8}: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。</p>			変更前	変更後	名称	燃料プール冷却浄化系ポンプ ^{*1}	—	—	種類	—	うず巻形 ^{*2}	—	容量	m ³ /h/個	124.9以上 ^{*1} (124.9 ^{*4})	—	揚程 ^{*2}	m	91.4以上 ^{*3} (91.4 ^{*4})	—	最高使用圧力	MPa	1.37 ^{*2}	—	最高使用温度	℃	65.0 ^{*2}	—	吸入内径	mm	150 ^{*4} 、 ^{*1}	—	吐出内径	mm	80 ^{*4} 、 ^{*1}	—	ケーシング厚さ	mm	3 (14.0 ^{*2} 、 ^{*4})	—	たて	mm	185 ^{*4} 、 ^{*1}	—	横	mm	968 ^{*3} 、 ^{*1}	—	高さ	mm	704 ^{*4} 、 ^{*1}	—	材料	ケーシング ^{*1}	—	SC46	個数	—	2	—	系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ	—	取付位置床	—	EL.29.90 m ^{*1}	—	溢水防護上の区画番号	—	—	RB-4-19	溢水防護上の配慮が必要高さ	—	—	EL.29.20 m以上			変更前	変更後	種類	—	誘導電動機 ^{*1}	—	出力	kW/個	55	—	個数	—	2	—	取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*3}	—	<p>耐圧強度評価の対象外の機器であるため、厚さ等は記載していない。</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (系統名、区画等) は記載していない。</p>
設備機器名称	2号均質バージ系ロータリポンプ	区分	均質・ブレンディング設備																																																																																																																																																																																																																																																																	
台数	4基																																																																																																																																																																																																																																																																			
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																																																			
臨界管理	—																																																																																																																																																																																																																																																																			
放射線防護	—																																																																																																																																																																																																																																																																			
耐震	第3類																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: 大気圧以下		主要設備リストで展開。																																																																																																																																																																																																																																																																	
型式	油回転式		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																																																																																	
主要寸法	幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
主要材料	アルミニウム合金 ■■■																																																																																																																																																																																																																																																																			
性能	排気速度 ■■■ m ³ /h/基																																																																																																																																																																																																																																																																			
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工室内に閉じ込める。 ※インターロックを図-25に示す。																																																																																																																																																																																																																																																																			
添付図	図-9、図-14		添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																	
名称 ^{*1}	—	2号均質バージ系ロータリポンプ ^{*8}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類 ^{*2}	—	油回転式	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
容量 ^{*3}	m ³ /h/基	■■■	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																	
揚程又は吐出圧力	—	— ^{*10}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
最高使用圧力 ^{*4}	hPa	上限: 960 下限: 0	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
最高使用温度 ^{*4}	℃	40	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス ^{*11}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
臨界管理	—	— ^{*12}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
主要寸法			変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																	
たて	mm	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																		
横	mm	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																		
高さ	mm	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																		
主要材料			変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																	
ケーシング	—	アルミニウム合金 ^{*13}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
個数 ^{*6}	基	4	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
取付箇所			変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																	
系統名 (ライン名)	—	均質バージ系 ^{*11}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
設置床 (室名称) ^{*7}	—	2号発回均質室	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	—	誘導電動機 ^{*11}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
出力	kW/基	1.5 ^{*11}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
個数	基	4 ^{*11}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	—	2号発回均質室 ^{*11}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																		
第十条 閉じ込め機能	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工室内に閉じ込めるインターロックを設ける。	— (検出器無し)																																																																																																																																																																																																																																																																		
第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																																																																																																																																		
第十八条 警報設備等	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工室内に閉じ込めるインターロックを設ける。	— (検出器無し)																																																																																																																																																																																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																	
名称	燃料プール冷却浄化系ポンプ ^{*1}	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	—	うず巻形 ^{*2}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
容量	m ³ /h/個	124.9以上 ^{*1} (124.9 ^{*4})	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
揚程 ^{*2}	m	91.4以上 ^{*3} (91.4 ^{*4})	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
最高使用圧力	MPa	1.37 ^{*2}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
最高使用温度	℃	65.0 ^{*2}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
吸入内径	mm	150 ^{*4} 、 ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
吐出内径	mm	80 ^{*4} 、 ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
ケーシング厚さ	mm	3 (14.0 ^{*2} 、 ^{*4})	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
たて	mm	185 ^{*4} 、 ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
横	mm	968 ^{*3} 、 ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
高さ	mm	704 ^{*4} 、 ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
材料	ケーシング ^{*1}	—	SC46																																																																																																																																																																																																																																																																	
個数	—	2	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
取付位置床	—	EL.29.90 m ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
溢水防護上の区画番号	—	—	RB-4-19																																																																																																																																																																																																																																																																	
溢水防護上の配慮が必要高さ	—	—	EL.29.20 m以上																																																																																																																																																																																																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	—	誘導電動機 ^{*1}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
出力	kW/個	55	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
個数	—	2	—																																																																																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*3}	—																																																																																																																																																																																																																																																																	

仕様表記載例7【機種：ファン】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																														
<p>表-4 その他の主要な設備の仕様 (除染排風機)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>除染排風機</td> <td>区分</td> <td>除染設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度: 常温 圧力: -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>遠心式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅: 約 500 mm 奥行: 約 580 mm 高さ: 約 970 mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS 41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>風量: 2100 m³/h 以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-4、図-5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	除染排風機	区分	除染設備	台数	1基			設置場所	除染室			管理				放射線防護				耐震	第2類			材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: -			型式	遠心式			主要寸法	幅: 約 500 mm 奥行: 約 580 mm 高さ: 約 970 mm			主要材料	炭素鋼 (SS 41)			性能	風量: 2100 m ³ /h 以上			核燃料物質の状態				その他				添付図	図-4、図-5			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>-</td> <td>除染排風機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>-</td> <td>遠心式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量 (風量)^{*3}</td> <td>m³/h</td> <td>2150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>-</td> <td>-^{*5}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*6}</td> <td>-</td> <td>空気^{*6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>560^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>800^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>970^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td>炭素鋼^{*11}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>-^{*12}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>-</td> <td>除染室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>誘導電動機^{*9}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基</td> <td>5.5^{*9}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>1^{*9}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>除染室^{*9}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8: 本機器は、大気圧付近の圧力で使用する排風機であり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *9: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *10: 公称値を示す。 *11: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *12: 系統区別を必要としないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	-	除染排風機		種類 ^{*2}	-	遠心式		容量 (風量) ^{*3}	m ³ /h	2150		最高使用圧力 ^{*4}	-	- ^{*5}		最高使用温度 ^{*4}	℃	40		流体等の種類 ^{*6}	-	空気 ^{*6}		主要寸法				たて	mm	560 ^{*10}		横	mm	800 ^{*10}		高さ	mm	970 ^{*10}		主要材料				ケーシング	-	炭素鋼 ^{*11}	変更なし	個数 ^{*6}	基	1		取付箇所				系統名 (ライン名)	-	- ^{*12}		設置床 (室名称) ^{*7}	-	除染室		種類	-	誘導電動機 ^{*9}		出力	kW/基	5.5 ^{*9}		個数	基	1 ^{*9}		取付箇所	-	除染室 ^{*9}		<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、水災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・本機器は、第1種管理区域の負圧維持に係る排風機ではないため、閉じ込め、溢水、警報、換気の条文要求に該当しない。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十一条	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、水災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p>(5) 排風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所 (常設及び可換型の別に記載すること。) 並びに設計上の空気の流入率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン^{*1}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>遠心式^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個^{*3}</td> <td>5100以上 (5100^{*4})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>450^{*4}</td> <td>391^{*4}</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>350^{*4}×500^{*4}</td> <td>271^{*4}×321^{*4}</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1415^{*4}</td> <td>1230^{*4}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1132^{*4}</td> <td>780^{*4}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1020^{*4}</td> <td>1250^{*4}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系^{*5}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>EL. 23.00 m^{*5}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td></td> <td>CS-3-1</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td></td> <td>EL. 23.00 m以上</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>誘導電動機^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>7.5^{*5}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2^{*5}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>排風機と同じ^{*5}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設計上の空気の流入率</td> <td>回/h</td> <td>1.0^{*5}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既設計図書には「排風機」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既設計図書には「遠心」と記載。 *3: 記載の適正化を行う。既設計図書には「m³/hr」と記載。 *4: 公称値を示す。 *5: 既設計図書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称		中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1}	変更なし	種類	-	遠心式 ^{*2}		容量	m ³ /h/個 ^{*3}	5100以上 (5100 ^{*4})		吸込口径	mm	450 ^{*4}	391 ^{*4}	吐出口径	mm	350 ^{*4} ×500 ^{*4}	271 ^{*4} ×321 ^{*4}	たて	mm	1415 ^{*4}	1230 ^{*4}	横	mm	1132 ^{*4}	780 ^{*4}	高さ	mm	1020 ^{*4}	1250 ^{*4}	個数	-	2		系統名 (ライン名)	-	中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系 ^{*5}	変更なし	設置床	-	EL. 23.00 m ^{*5}		溢水防護上の区画番号	-		CS-3-1	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		EL. 23.00 m以上	種類	-	誘導電動機 ^{*2}		出力	kW/個	7.5 ^{*5}		個数	-	2 ^{*5}		取付箇所	-	排風機と同じ ^{*5}	変更なし	設計上の空気の流入率	回/h	1.0 ^{*5}		<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (系統名、区画等) は記載していない。</p> <p>中央制御室の居住性に係る排風機ではないため、「設計上の空気の流入率」は記載していない。</p>
設備機器名称	除染排風機	区分	除染設備																																																																																																																																																																																																																															
台数	1基																																																																																																																																																																																																																																	
設置場所	除染室																																																																																																																																																																																																																																	
管理																																																																																																																																																																																																																																		
放射線防護																																																																																																																																																																																																																																		
耐震	第2類																																																																																																																																																																																																																																	
材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: -																																																																																																																																																																																																																																	
型式	遠心式																																																																																																																																																																																																																																	
主要寸法	幅: 約 500 mm 奥行: 約 580 mm 高さ: 約 970 mm																																																																																																																																																																																																																																	
主要材料	炭素鋼 (SS 41)																																																																																																																																																																																																																																	
性能	風量: 2100 m ³ /h 以上																																																																																																																																																																																																																																	
核燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																																																		
その他																																																																																																																																																																																																																																		
添付図	図-4、図-5																																																																																																																																																																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																															
名称 ^{*1}	-	除染排風機																																																																																																																																																																																																																																
種類 ^{*2}	-	遠心式																																																																																																																																																																																																																																
容量 (風量) ^{*3}	m ³ /h	2150																																																																																																																																																																																																																																
最高使用圧力 ^{*4}	-	- ^{*5}																																																																																																																																																																																																																																
最高使用温度 ^{*4}	℃	40																																																																																																																																																																																																																																
流体等の種類 ^{*6}	-	空気 ^{*6}																																																																																																																																																																																																																																
主要寸法																																																																																																																																																																																																																																		
たて	mm	560 ^{*10}																																																																																																																																																																																																																																
横	mm	800 ^{*10}																																																																																																																																																																																																																																
高さ	mm	970 ^{*10}																																																																																																																																																																																																																																
主要材料																																																																																																																																																																																																																																		
ケーシング	-	炭素鋼 ^{*11}	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
個数 ^{*6}	基	1																																																																																																																																																																																																																																
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																		
系統名 (ライン名)	-	- ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																
設置床 (室名称) ^{*7}	-	除染室																																																																																																																																																																																																																																
種類	-	誘導電動機 ^{*9}																																																																																																																																																																																																																																
出力	kW/基	5.5 ^{*9}																																																																																																																																																																																																																																
個数	基	1 ^{*9}																																																																																																																																																																																																																																
取付箇所	-	除染室 ^{*9}																																																																																																																																																																																																																																
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																
第十一条	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、水災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																															
名称		中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1}	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
種類	-	遠心式 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																
容量	m ³ /h/個 ^{*3}	5100以上 (5100 ^{*4})																																																																																																																																																																																																																																
吸込口径	mm	450 ^{*4}	391 ^{*4}																																																																																																																																																																																																																															
吐出口径	mm	350 ^{*4} ×500 ^{*4}	271 ^{*4} ×321 ^{*4}																																																																																																																																																																																																																															
たて	mm	1415 ^{*4}	1230 ^{*4}																																																																																																																																																																																																																															
横	mm	1132 ^{*4}	780 ^{*4}																																																																																																																																																																																																																															
高さ	mm	1020 ^{*4}	1250 ^{*4}																																																																																																																																																																																																																															
個数	-	2																																																																																																																																																																																																																																
系統名 (ライン名)	-	中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系 ^{*5}	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
設置床	-	EL. 23.00 m ^{*5}																																																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の区画番号	-		CS-3-1																																																																																																																																																																																																																															
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		EL. 23.00 m以上																																																																																																																																																																																																																															
種類	-	誘導電動機 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																
出力	kW/個	7.5 ^{*5}																																																																																																																																																																																																																																
個数	-	2 ^{*5}																																																																																																																																																																																																																																
取付箇所	-	排風機と同じ ^{*5}	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
設計上の空気の流入率	回/h	1.0 ^{*5}																																																																																																																																																																																																																																

仕様表記載例 8【機種：フィルタ】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																								
<p>表-3 気体廃棄物の廃棄設備の仕様 (2号局所排気装置)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号局所排気装置</td> <td>区分</td> <td>気体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>排気室</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：常圧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>バンク型(プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：2300mm 奥行：2400mm 高さ：2300mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体：炭素鋼(電気絶縁めっき鋼板) フィルタ：グラスウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>局所排気装置捕集効率：99.9%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) UF₆が漏えいした場合、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急止断弁を閉じ、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切り替え、漏えいの拡大を防止する。 本インターロックを図-10に示す。 なお、2号局所排気装置を経由して排気するラインへ切り替える機能の信頼性を上げるため、切替弁を二重化する。 (2) UF₆が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検知し、緊急止断弁を閉止するまでの時間は、10秒以内とする。 (3) 高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器(HF除去効率：99.99%以上)を設ける。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-3、図-5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p> <p>【補足説明】 ・通常時及び漏えい発生時において本機器を経由して排気しないことから溢水防護対象の対象外である。</p>	設備機器名称	2号局所排気装置	区分	気体廃棄物の廃棄設備	台数	1基			設置場所	排気室		該当しないため、記載を削除。	境界管理				放射線防護				耐震	第2類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：常圧			型式	バンク型(プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)		主要設備リストで展開。	主要寸法	幅：2300mm 奥行：2400mm 高さ：2300mm			主要材料	本体：炭素鋼(電気絶縁めっき鋼板) フィルタ：グラスウール			性能	局所排気装置捕集効率：99.9%以上			核燃料物質の状態				その他	(1) UF ₆ が漏えいした場合、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急止断弁を閉じ、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切り替え、漏えいの拡大を防止する。 本インターロックを図-10に示す。 なお、2号局所排気装置を経由して排気するラインへ切り替える機能の信頼性を上げるため、切替弁を二重化する。 (2) UF ₆ が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検知し、緊急止断弁を閉止するまでの時間は、10秒以内とする。 (3) 高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器(HF除去効率：99.99%以上)を設ける。			添付図	図-3、図-5			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td></td> <td>2号局所排気装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td></td> <td>バンク型(プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量(風量)^{*3}</td> <td>m³/h/基</td> <td>5000^{*12}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>捕集効率</td> <td>%</td> <td>99.9以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>HF除去効率</td> <td>%</td> <td>99.99以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td></td> <td>—^{*13}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td></td> <td>排ガス^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2400^{*12}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2300^{*12}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2300^{*12}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>筐体</td> <td></td> <td>炭素鋼^{*14}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td></td> <td>グラスウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>均質・ブレンディング系^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)^{*7}</td> <td></td> <td>排気室</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度、圧力)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：本機器は、工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロック、地震発生時の UF₆漏えい防止インターロックの機能を有する設計とする。 *9：UF₆が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検知し、ダンパを閉止するまでの時間は、30秒以内とする。 *10：高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器(HF除去効率：99.99%以上)を設ける。 *11：既設工認に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *12：公称値を示す。 *13：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *14：UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}		2号局所排気装置		種類 ^{*2}		バンク型(プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)		容量(風量) ^{*3}	m ³ /h/基	5000 ^{*12}		効率				捕集効率	%	99.9以上		HF除去効率	%	99.99以上		最高使用圧力 ^{*4}		— ^{*13}		最高使用温度 ^{*4}	℃	40		流体等の種類 ^{*5}		排ガス ^{*11}		主要寸法			変更なし	たて	mm	2400 ^{*12}		横	mm	2300 ^{*12}		高さ	mm	2300 ^{*12}		主要材料				筐体		炭素鋼 ^{*14}		ろ材		グラスウール		個数 ^{*6}	基	1		取付箇所				系統名(ライン名)		均質・ブレンディング系 ^{*11}		設置床(室名称) ^{*7}		排気室		<p>技術基準</p> <p>第十条 閉じ込めの機能</p> <p>機能要求② 様式-6,7</p> <p>主な仕様 (詳細設計)</p> <p>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</p> <p>○閉じ込めの機能 ・UF₆の漏えい対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。なお、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロックを設け、排気が工程用モニタからダンパに到達する時間は、ダンパの切り替えに要する時間より十分長くなる排気風速とダクト長とすることにより、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。</p> <p>第十一条 火災等の発生防止</p> <p>○火災等の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</p> <p>第十八条 警報設備等</p> <p>○閉じ込めの機能 ・UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。</p>	<p>発電炉類似設備要目表</p> <p>へ フィルター(公衆の放射線障害の防止を目的として設置するものに限る)の名称、種類、効率、主要寸法、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> <td>フィルタ装置^{*1, *4}</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>スクラビング水、金属フィルタ及び銀ゼオライト</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>率^{*2} %</td> <td></td> <td>粒子状放射性物質 99.9以上 無機よう素 99以上 有機よう素 98以上 (原子伊格納容器圧力0.31 MPa時における定格点の値)</td> </tr> <tr> <td>主寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>4600^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>□(30.0^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>□(30.0^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm</td> <td>4000^{*3}(鏡板径) 1150^{*3}(鏡板径の2分の1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管台外径(ベントガス入口)</td> <td>mm</td> <td>457.2^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管台厚さ(ベントガス入口)</td> <td>mm</td> <td>□(14.3^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管台外径(ベントガス出口)</td> <td>mm</td> <td>355.6^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管台厚さ(ベントガス出口)</td> <td>mm</td> <td>□(11.1^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td>mm</td> <td>609.6^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール厚さ</td> <td>mm</td> <td>□(20.0^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>□(83.2^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>10000^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td></td> <td>フィルタ装置 格納容器圧力逃がし装置</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td></td> <td>格納容器圧力逃がし装置格納槽 EL=-12.80m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(格納容器圧力逃がし装置)と兼用する。 *2：重大事故等時における使用時の値を示す。 *3：公称値を示す。 *4：本設備は、容器として使用するフィルタ装置と同一機器である。</p>			変更前	変更後	名称			フィルタ装置 ^{*1, *4}	種類			スクラビング水、金属フィルタ及び銀ゼオライト	効率	率 ^{*2} %		粒子状放射性物質 99.9以上 無機よう素 99以上 有機よう素 98以上 (原子伊格納容器圧力0.31 MPa時における定格点の値)	主寸法				胴内径	mm	4600 ^{*3}		胴板厚さ	mm	□(30.0 ^{*3})		鏡板厚さ	mm	□(30.0 ^{*3})		鏡板の形状に係る寸法	mm	4000 ^{*3} (鏡板径) 1150 ^{*3} (鏡板径の2分の1)		管台外径(ベントガス入口)	mm	457.2 ^{*3}		管台厚さ(ベントガス入口)	mm	□(14.3 ^{*3})		管台外径(ベントガス出口)	mm	355.6 ^{*3}		管台厚さ(ベントガス出口)	mm	□(11.1 ^{*3})		マンホール外径	mm	609.6 ^{*3}		マンホール厚さ	mm	□(20.0 ^{*3})		マンホール平板厚さ	mm	□(83.2 ^{*3})		高さ	mm	10000 ^{*3}		個数		1		取付箇所				系統名(ライン名)			フィルタ装置 格納容器圧力逃がし装置	設置床			格納容器圧力逃がし装置格納槽 EL=-12.80m	溢水防護上の区画番号			—	溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目(系統名、区画等)は記載していない。</p>
設備機器名称	2号局所排気装置	区分	気体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																																																																									
台数	1基																																																																																																																																																																																																																																											
設置場所	排気室		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																																																									
境界管理																																																																																																																																																																																																																																												
放射線防護																																																																																																																																																																																																																																												
耐震	第2類																																																																																																																																																																																																																																											
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：常圧																																																																																																																																																																																																																																											
型式	バンク型(プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)		主要設備リストで展開。																																																																																																																																																																																																																																									
主要寸法	幅：2300mm 奥行：2400mm 高さ：2300mm																																																																																																																																																																																																																																											
主要材料	本体：炭素鋼(電気絶縁めっき鋼板) フィルタ：グラスウール																																																																																																																																																																																																																																											
性能	局所排気装置捕集効率：99.9%以上																																																																																																																																																																																																																																											
核燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																																																												
その他	(1) UF ₆ が漏えいした場合、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急止断弁を閉じ、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切り替え、漏えいの拡大を防止する。 本インターロックを図-10に示す。 なお、2号局所排気装置を経由して排気するラインへ切り替える機能の信頼性を上げるため、切替弁を二重化する。 (2) UF ₆ が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検知し、緊急止断弁を閉止するまでの時間は、10秒以内とする。 (3) 高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器(HF除去効率：99.99%以上)を設ける。																																																																																																																																																																																																																																											
添付図	図-3、図-5																																																																																																																																																																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																									
名称 ^{*1}		2号局所排気装置																																																																																																																																																																																																																																										
種類 ^{*2}		バンク型(プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)																																																																																																																																																																																																																																										
容量(風量) ^{*3}	m ³ /h/基	5000 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																										
効率																																																																																																																																																																																																																																												
捕集効率	%	99.9以上																																																																																																																																																																																																																																										
HF除去効率	%	99.99以上																																																																																																																																																																																																																																										
最高使用圧力 ^{*4}		— ^{*13}																																																																																																																																																																																																																																										
最高使用温度 ^{*4}	℃	40																																																																																																																																																																																																																																										
流体等の種類 ^{*5}		排ガス ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																										
主要寸法			変更なし																																																																																																																																																																																																																																									
たて	mm	2400 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																										
横	mm	2300 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																										
高さ	mm	2300 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																										
主要材料																																																																																																																																																																																																																																												
筐体		炭素鋼 ^{*14}																																																																																																																																																																																																																																										
ろ材		グラスウール																																																																																																																																																																																																																																										
個数 ^{*6}	基	1																																																																																																																																																																																																																																										
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																												
系統名(ライン名)		均質・ブレンディング系 ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																										
設置床(室名称) ^{*7}		排気室																																																																																																																																																																																																																																										
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																									
名称			フィルタ装置 ^{*1, *4}																																																																																																																																																																																																																																									
種類			スクラビング水、金属フィルタ及び銀ゼオライト																																																																																																																																																																																																																																									
効率	率 ^{*2} %		粒子状放射性物質 99.9以上 無機よう素 99以上 有機よう素 98以上 (原子伊格納容器圧力0.31 MPa時における定格点の値)																																																																																																																																																																																																																																									
主寸法																																																																																																																																																																																																																																												
胴内径	mm	4600 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																										
胴板厚さ	mm	□(30.0 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																										
鏡板厚さ	mm	□(30.0 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																										
鏡板の形状に係る寸法	mm	4000 ^{*3} (鏡板径) 1150 ^{*3} (鏡板径の2分の1)																																																																																																																																																																																																																																										
管台外径(ベントガス入口)	mm	457.2 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																										
管台厚さ(ベントガス入口)	mm	□(14.3 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																										
管台外径(ベントガス出口)	mm	355.6 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																										
管台厚さ(ベントガス出口)	mm	□(11.1 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																										
マンホール外径	mm	609.6 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																										
マンホール厚さ	mm	□(20.0 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																										
マンホール平板厚さ	mm	□(83.2 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																										
高さ	mm	10000 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																										
個数		1																																																																																																																																																																																																																																										
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																												
系統名(ライン名)			フィルタ装置 格納容器圧力逃がし装置																																																																																																																																																																																																																																									
設置床			格納容器圧力逃がし装置格納槽 EL=-12.80m																																																																																																																																																																																																																																									
溢水防護上の区画番号			—																																																																																																																																																																																																																																									
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—																																																																																																																																																																																																																																									

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

仕様表記載例 11【機種：主配管】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																															
<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-13 均質・ブレンド設備の仕様 (主配管)</p> <table border="1"> <tr><td>設備機器名称</td><td>主要配管</td><td>区分</td></tr> <tr><td>台数</td><td>一式</td><td>均質・ブレンド設備</td></tr> <tr><td>設置場所</td><td>2号均質室</td><td></td></tr> <tr><td>臨界管理</td><td>核的制限値：濃縮度5%以下</td><td></td></tr> <tr><td>放射線防護</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>耐震</td><td>第1類 (第1類機器-放射用遮断弁開)</td><td>第2類</td></tr> <tr><td>材料・構造 (温度、圧力)</td><td>温度：2号均質室出入口配管カバー内は120℃、電気ヒータによる加熱部は100℃、その他は常温 圧力：2号均質室出入口配管カバー内は3kg/cm²G、その他は大気圧以下</td><td></td></tr> <tr><td>型式</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>呼び径：15 A~50A 主要設備リストで展開。</td><td></td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>ステンレス鋼</td><td></td></tr> <tr><td>性能</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>核燃料物質の状態</td><td>気体 U F₆</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>(1) UF₆の配管中での腐蝕を防ぐため、UF₆圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 2号均質室出入口配管カバー内配管温度が120℃を超えない範囲で、また電気ヒータによる加熱部が90℃を超えない範囲で警報を発し、自動的にヒータの電源を切る。本インターロックを図-27に示す。 (2) 弁は、漏漏えい弁(ペロシール弁)を用いる。</td><td></td></tr> <tr><td>添付図</td><td>図-15</td><td></td></tr> </table> <p>事業変更許可において生産系のインターロックに位置付けを変更しているため、記載を削除。(本生産系インターロックは事業変更許可添付書類のみに記載)</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p>	設備機器名称	主要配管	区分	台数	一式	均質・ブレンド設備	設置場所	2号均質室		臨界管理	核的制限値：濃縮度5%以下		放射線防護			耐震	第1類 (第1類機器-放射用遮断弁開)	第2類	材料・構造 (温度、圧力)	温度：2号均質室出入口配管カバー内は120℃、電気ヒータによる加熱部は100℃、その他は常温 圧力：2号均質室出入口配管カバー内は3kg/cm ² G、その他は大気圧以下		型式			主要寸法	呼び径：15 A~50A 主要設備リストで展開。		主要材料	ステンレス鋼		性能			核燃料物質の状態	気体 U F ₆		その他	(1) UF ₆ の配管中での腐蝕を防ぐため、UF ₆ 圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 2号均質室出入口配管カバー内配管温度が120℃を超えない範囲で、また電気ヒータによる加熱部が90℃を超えない範囲で警報を発し、自動的にヒータの電源を切る。本インターロックを図-27に示す。 (2) 弁は、漏漏えい弁(ペロシール弁)を用いる。		添付図	図-15		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">名称^{#1}</th> <th rowspan="2">主要材料</th> <th rowspan="2">厚さ^{#4}</th> <th rowspan="2">外径^{#4}</th> <th rowspan="2">境界管理 (目的、耐震度)</th> <th colspan="2">状態</th> </tr> <tr> <th>状態</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">均質室 (均質・ブレンド)</td> <td rowspan="2">SUS316</td> <td>2.5</td> <td>27.2</td> <td rowspan="2">5以下</td> <td>気体 UF₆</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>48.6</td> <td>気体 UF₆</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">均質室 (均質・ブレンド)</td> <td rowspan="2">SUS316</td> <td>2.5</td> <td>27.2</td> <td rowspan="2">5以下</td> <td>気体 UF₆</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>34.0</td> <td>気体 UF₆</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工図には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工図には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *3：記載の適正化。既設工図には「核燃料物質の状態」と記載。 *4：記載の適正化。既設工図には「主要寸法」と記載。 *5：公称値を示す。</p>	名称 ^{#1}	主要材料	厚さ ^{#4}	外径 ^{#4}	境界管理 (目的、耐震度)	状態		状態	状態	均質室 (均質・ブレンド)	SUS316	2.5	27.2	5以下	気体 UF ₆	100	3.0	48.6	気体 UF ₆	0	均質室 (均質・ブレンド)	SUS316	2.5	27.2	5以下	気体 UF ₆	100	3.0	34.0	気体 UF ₆	0	<table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせる管理</td> <td>核的制限値：濃縮度</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>○閉じ込めの機能 ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおりの設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF₆等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等のによる損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。 (2) 座屈による破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。</td> <td>主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせる管理	核的制限値：濃縮度	第十条 閉じ込めの機能	○閉じ込めの機能 ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおりの設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。	主要材料	第十一条 火災等のによる損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	第十五条 材料及び構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。 (2) 座屈による破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>材料</th> <th>厚さ^{#4}</th> <th>外径^{#4}</th> <th>境界管理 (目的、耐震度)</th> <th>状態</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td rowspan="2">72</td> <td rowspan="2">0.014^{#5}</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td rowspan="2">72</td> <td rowspan="2">0.014^{#5}</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td rowspan="2">72</td> <td rowspan="2">0.014^{#5}</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td rowspan="2">72</td> <td rowspan="2">0.014^{#5}</td> <td>606.6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋空気取り入れ弁</td> <td>SUS316</td> <td>12.0^{#5}</td> <td>606.6</td> <td>606.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：設備の名称。 *2：設備の材料。 *3：設備の厚さ。 *4：設備の外径。 *5：設備の境界管理 (目的、耐震度)。 *6：設備の状態 (気体、液体)。 *7：設備の状態 (温度)。 *8：設備の状態 (圧力)。 *9：設備の状態 (形状寸法)。 *10：設備の状態 (化学的成分)。 *11：設備の状態 (機械的強度)。 *12：設備の状態 (延性破断)。 *13：設備の状態 (座屈)。 *14：設備の状態 (その他)。</p>	設備	材料	厚さ ^{#4}	外径 ^{#4}	境界管理 (目的、耐震度)	状態	状態	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6	原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	606.6	<p>備考</p>
設備機器名称	主要配管	区分																																																																																																																																																	
台数	一式	均質・ブレンド設備																																																																																																																																																	
設置場所	2号均質室																																																																																																																																																		
臨界管理	核的制限値：濃縮度5%以下																																																																																																																																																		
放射線防護																																																																																																																																																			
耐震	第1類 (第1類機器-放射用遮断弁開)	第2類																																																																																																																																																	
材料・構造 (温度、圧力)	温度：2号均質室出入口配管カバー内は120℃、電気ヒータによる加熱部は100℃、その他は常温 圧力：2号均質室出入口配管カバー内は3kg/cm ² G、その他は大気圧以下																																																																																																																																																		
型式																																																																																																																																																			
主要寸法	呼び径：15 A~50A 主要設備リストで展開。																																																																																																																																																		
主要材料	ステンレス鋼																																																																																																																																																		
性能																																																																																																																																																			
核燃料物質の状態	気体 U F ₆																																																																																																																																																		
その他	(1) UF ₆ の配管中での腐蝕を防ぐため、UF ₆ 圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 2号均質室出入口配管カバー内配管温度が120℃を超えない範囲で、また電気ヒータによる加熱部が90℃を超えない範囲で警報を発し、自動的にヒータの電源を切る。本インターロックを図-27に示す。 (2) 弁は、漏漏えい弁(ペロシール弁)を用いる。																																																																																																																																																		
添付図	図-15																																																																																																																																																		
名称 ^{#1}	主要材料	厚さ ^{#4}	外径 ^{#4}	境界管理 (目的、耐震度)	状態																																																																																																																																														
					状態	状態																																																																																																																																													
均質室 (均質・ブレンド)	SUS316	2.5	27.2	5以下	気体 UF ₆	100																																																																																																																																													
		3.0	48.6		気体 UF ₆	0																																																																																																																																													
均質室 (均質・ブレンド)	SUS316	2.5	27.2	5以下	気体 UF ₆	100																																																																																																																																													
		3.0	34.0		気体 UF ₆	0																																																																																																																																													
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																	
第四条 核燃料物質の臨界防止	濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせる管理	核的制限値：濃縮度																																																																																																																																																	
第十条 閉じ込めの機能	○閉じ込めの機能 ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおりの設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																	
第十一条 火災等のによる損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																	
第十五条 材料及び構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。 (2) 座屈による破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料																																																																																																																																																	
設備	材料	厚さ ^{#4}	外径 ^{#4}	境界管理 (目的、耐震度)	状態	状態																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6			606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6			606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6			606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6	72	0.014 ^{#5}	606.6																																																																																																																																													
原子炉建屋空気取り入れ弁	SUS316	12.0 ^{#5}	606.6			606.6																																																																																																																																													

仕様表記載例 12 【機種：ラック／ピット／棚】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																												
<p>表-2 貯蔵設備の仕様 (製品シリンダ置台 (充填))</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>製品シリンダ置台 (充填)</td> <td>区分</td> <td>貯蔵設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>156組 (2個/組)</td> <td></td> <td>89組 (2個/組)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>Bウラン貯蔵庫</td> <td></td> <td>Aウラン貯蔵庫</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td colspan="3">製品シリンダ置台 (充填) に積載する製品シリンダ (充填) の相互間隔50cm以上</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td colspan="3">第1類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">(積載物: 製品シリンダ (充填) (ANSI規格 30B) 1本/組)</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3">幅: 100 mm 全長: 700 mm 高さ: 177 mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼 (SS400)</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3">Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台 (充填) は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-2、図-6</td> <td></td> <td>図-2、図-8</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>	設備機器名称	製品シリンダ置台 (充填)	区分	貯蔵設備	台数	156組 (2個/組)		89組 (2個/組)	設置場所	Bウラン貯蔵庫		Aウラン貯蔵庫	臨界管理	製品シリンダ置台 (充填) に積載する製品シリンダ (充填) の相互間隔50cm以上			放射線防護	—			耐震	第1類			材料・構造 (温度、圧力)	—			型式	(積載物: 製品シリンダ (充填) (ANSI規格 30B) 1本/組)			主要寸法	幅: 100 mm 全長: 700 mm 高さ: 177 mm			主要材料	炭素鋼 (SS400)			性能	—			核燃料物質の状態	—			その他	Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台 (充填) は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。			添付図	図-2、図-6		図-2、図-8	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>製品シリンダ置台 (充填)</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*5}</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>本/組</td> <td>1^{*6}</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> <td>cm 30以上</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>700^{*7}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>100^{*7}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>177^{*7}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*8}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>組</td> <td>300 (2個/組) ^{*9}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称) ^{*4}</td> <td>—</td> <td>Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5: 種別を必要としないため「—」とする。 *6: 製品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B) 1本/組、廃品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B) 1本/組及び付着ウラン回収容器1本/組を積載する (最大貯蔵能力: 300本)。 *7: 公称値を示す。 *8: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *9: Aウラン貯蔵室の個数144組とBウラン貯蔵室の個数156組の合計300組のうち、12組は付着ウラン回収容器置台と兼用する。また、Aウラン貯蔵室及びBウラン貯蔵室における廃品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B) は、合計が3ユニット以下とする。 *10: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	製品シリンダ置台 (充填)	種類 ^{*2}	—	— ^{*5}	容量	本/組	1 ^{*6}	臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上	主要寸法			たて	mm	700 ^{*7}	横	mm	100 ^{*7}	高さ	mm	177 ^{*7}	主要材料			本体	—	炭素鋼 ^{*8}	個数 ^{*3}	組	300 (2個/組) ^{*9}	取付箇所			系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}	設置床 (室名称) ^{*4}	—	Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室	<p>技術基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様式-6,7</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> </tr> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・シリンダ置台は、核燃料物質を内包する設備ではないため、臨界管理の対象外であるが、積載するシリンダが臨界管理の対象であることから、シリンダ置台にて核的に安全な配置を確保 (他ユニットとの相互間隔の確保) する。</p> <p>【補足説明】 ・事業変更許可申請書に基づき、積載するシリンダ類を製品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B)、廃品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B)、付着ウラン回収容器とする。</p>	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	他ユニットとの相互間隔	第四条 核燃料物質の臨界防止	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。	第十一条 火災等に よる損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	<p>(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">使用済燃料貯蔵ラック</th> <th colspan="2">使用済燃料貯蔵ラック^{*5}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>たて置ラック式</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>70</td> <td>110</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>中心間隔</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>内厚</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>16</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「4493」と記載。記載内容は、設計図書による。 *3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成6年4月19日付け6資庁第2531号にて認可された工事計画の添付書類「2-2-1-1 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」による。 *4: 別紙 [] 規格表) 参照。 *5: 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (代替燃料プール注水系、代替燃料プール冷却系) と兼用する。</p>	名称	変更前		変更後		使用済燃料貯蔵ラック		使用済燃料貯蔵ラック ^{*5}		種類	—	たて置ラック式	—		容量	—	70	110	—	高さ	—	—		変更なし	中心間隔	—	—		内厚	—	—		厚さ	—	—			材料	—	—			個数	—	7	16		
設備機器名称	製品シリンダ置台 (充填)	区分	貯蔵設備																																																																																																																																																													
台数	156組 (2個/組)		89組 (2個/組)																																																																																																																																																													
設置場所	Bウラン貯蔵庫		Aウラン貯蔵庫																																																																																																																																																													
臨界管理	製品シリンダ置台 (充填) に積載する製品シリンダ (充填) の相互間隔50cm以上																																																																																																																																																															
放射線防護	—																																																																																																																																																															
耐震	第1類																																																																																																																																																															
材料・構造 (温度、圧力)	—																																																																																																																																																															
型式	(積載物: 製品シリンダ (充填) (ANSI規格 30B) 1本/組)																																																																																																																																																															
主要寸法	幅: 100 mm 全長: 700 mm 高さ: 177 mm																																																																																																																																																															
主要材料	炭素鋼 (SS400)																																																																																																																																																															
性能	—																																																																																																																																																															
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																															
その他	Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台 (充填) は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。																																																																																																																																																															
添付図	図-2、図-6		図-2、図-8																																																																																																																																																													
	変更前	変更後																																																																																																																																																														
名称 ^{*1}	—	製品シリンダ置台 (充填)																																																																																																																																																														
種類 ^{*2}	—	— ^{*5}																																																																																																																																																														
容量	本/組	1 ^{*6}																																																																																																																																																														
臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上																																																																																																																																																														
主要寸法																																																																																																																																																																
たて	mm	700 ^{*7}																																																																																																																																																														
横	mm	100 ^{*7}																																																																																																																																																														
高さ	mm	177 ^{*7}																																																																																																																																																														
主要材料																																																																																																																																																																
本体	—	炭素鋼 ^{*8}																																																																																																																																																														
個数 ^{*3}	組	300 (2個/組) ^{*9}																																																																																																																																																														
取付箇所																																																																																																																																																																
系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}																																																																																																																																																														
設置床 (室名称) ^{*4}	—	Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室																																																																																																																																																														
機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																															
様式-6,7	他ユニットとの相互間隔																																																																																																																																																															
第四条 核燃料物質の臨界防止	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。																																																																																																																																																															
第十一条 火災等に よる損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。																																																																																																																																																															
名称	変更前		変更後																																																																																																																																																													
	使用済燃料貯蔵ラック		使用済燃料貯蔵ラック ^{*5}																																																																																																																																																													
種類	—	たて置ラック式	—																																																																																																																																																													
容量	—	70	110	—																																																																																																																																																												
高さ	—	—		変更なし																																																																																																																																																												
中心間隔	—	—																																																																																																																																																														
内厚	—	—																																																																																																																																																														
厚さ	—	—																																																																																																																																																														
材料	—	—																																																																																																																																																														
個数	—	7	16																																																																																																																																																													

仕様表記載例 13【機種：搬送設備】

既認可の仕様表		仕様表		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																				
<p>表-1 搬送設備の仕様 (ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C</td> <td>区分</td> <td>搬送設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>3基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>ウラン貯蔵庫</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>---</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>ホイスト式 (定格荷重: 16 t)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>スパン: 約 10460 mm サドルホイールベース: 約 4800 mm</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS 41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>抗燃剤物質の状態</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態ではシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-1、図-7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		設備機器名称	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C	区分	搬送設備	台数	3基			設置場所	ウラン貯蔵庫			臨界管理	---		主要設備リストで展開。	放射線防護	---			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	---			型式	ホイスト式 (定格荷重: 16 t)			主要寸法	スパン: 約 10460 mm サドルホイールベース: 約 4800 mm		該当しないため、記載を削除。	主要材料	炭素鋼 (SS 41)			性能	---			抗燃剤物質の状態	---			その他	(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態ではシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。			添付図	図-1、図-7			<p>1.2 搬送設備 a. 搬送設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>天井走行クレーン A, B, C^{*6}</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>ホイスト式</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>容量 (定格荷重)</td> <td>16 t</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>スパン: 10460^{*6} サドルホイールベース: 4800^{*6}</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>3</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名): ---^{*10} 設置床 (室名称): A ウラン貯蔵室</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5: 本機器は、吊り上げ高さを床より 1.2 m 以下に制限する機能及び外部電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を有する設計とする。 *6: その他の構成機器として、吊り具を有する設計とする。 *7: シリンダ類の運搬中に他のシリンダ類と接触した場合においても臨界とならないことから臨界管理の対象外であるため「-」とする。 *8: 公称値を示す。 *9: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS 規格番号は記載しない。 *10: 系統区別を必要としないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	天井走行クレーン A, B, C ^{*6}	---	種類 ^{*2}	ホイスト式	---	容量 (定格荷重)	16 t	---	臨界管理	---	---	主要寸法	スパン: 10460 ^{*6} サドルホイールベース: 4800 ^{*6}	---	主要材料	炭素鋼 ^{*9}	---	個数 ^{*3}	3	---	取付箇所	系統名 (ライン名): --- ^{*10} 設置床 (室名称): A ウラン貯蔵室	---	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十六条 搬送設備</td> <td>○搬送設備 UF₆シリンダ類及び付着ウラン回収容器の移動に用いる天井走行クレーン、シリンダ搬送台車及びシリンダ搬出車等は、これらのシリンダ等の重量に対して十分な強度を有する設計とする。 天井走行クレーンには UF₆シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ (シリンダ1段積みで1.2 m 及びシリンダ2段積みで1.85 m) 以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。</td> <td>容量 (定格荷重) 吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持</td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	第十六条 搬送設備	○搬送設備 UF ₆ シリンダ類及び付着ウラン回収容器の移動に用いる天井走行クレーン、シリンダ搬送台車及びシリンダ搬出車等は、これらのシリンダ等の重量に対して十分な強度を有する設計とする。 天井走行クレーンには UF ₆ シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ (シリンダ1段積みで1.2 m 及びシリンダ2段積みで1.85 m) 以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。	容量 (定格荷重) 吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>原子炉建屋クレーン</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>天井走行式</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>主巻 t: 125 副巻 t: 5 モノレールホイスト t: 10</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>走行レール間距離^{*1} mm: [] クレーン本体ガード距離 mm: [] クレーン本体ガード幅 mm: [] クレーン本体ガード高さ mm: []</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ガード: S550A^{*5}</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名): [] 設置位置 尺: El. 54.50 m^{*5}</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「スパン」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[]」と記載。 *3: 公称値を示す。 *4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成元年4月26日付け発管発第37号にて届け出した工事計画の添付書類「1-2-1 原子炉建屋クレーンの耐震性についての計算書」による。</p>				変更前	変更後	名称	原子炉建屋クレーン	---	---	種類	天井走行式	---	---	容量	主巻 t: 125 副巻 t: 5 モノレールホイスト t: 10	---	---	主要寸法	走行レール間距離 ^{*1} mm: [] クレーン本体ガード距離 mm: [] クレーン本体ガード幅 mm: [] クレーン本体ガード高さ mm: []	---	---	材料	ガード: S550A ^{*5}	---	---	個数	1	---	---	取付箇所	系統名 (ライン名): [] 設置位置 尺: El. 54.50 m ^{*5}	---	---	溢水防護上の区画番号	---	---	---	溢水防護上の配慮が必要な高さ	---	---	---	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (区画、高さ等) は記載していない。</p>
設備機器名称	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C	区分	搬送設備																																																																																																																																									
台数	3基																																																																																																																																											
設置場所	ウラン貯蔵庫																																																																																																																																											
臨界管理	---		主要設備リストで展開。																																																																																																																																									
放射線防護	---																																																																																																																																											
耐震	第3類																																																																																																																																											
材料・構造 (温度、圧力)	---																																																																																																																																											
型式	ホイスト式 (定格荷重: 16 t)																																																																																																																																											
主要寸法	スパン: 約 10460 mm サドルホイールベース: 約 4800 mm		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																									
主要材料	炭素鋼 (SS 41)																																																																																																																																											
性能	---																																																																																																																																											
抗燃剤物質の状態	---																																																																																																																																											
その他	(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態ではシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。																																																																																																																																											
添付図	図-1、図-7																																																																																																																																											
	変更前	変更後																																																																																																																																										
名称 ^{*1}	天井走行クレーン A, B, C ^{*6}	---																																																																																																																																										
種類 ^{*2}	ホイスト式	---																																																																																																																																										
容量 (定格荷重)	16 t	---																																																																																																																																										
臨界管理	---	---																																																																																																																																										
主要寸法	スパン: 10460 ^{*6} サドルホイールベース: 4800 ^{*6}	---																																																																																																																																										
主要材料	炭素鋼 ^{*9}	---																																																																																																																																										
個数 ^{*3}	3	---																																																																																																																																										
取付箇所	系統名 (ライン名): --- ^{*10} 設置床 (室名称): A ウラン貯蔵室	---																																																																																																																																										
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																										
第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																										
第十六条 搬送設備	○搬送設備 UF ₆ シリンダ類及び付着ウラン回収容器の移動に用いる天井走行クレーン、シリンダ搬送台車及びシリンダ搬出車等は、これらのシリンダ等の重量に対して十分な強度を有する設計とする。 天井走行クレーンには UF ₆ シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ (シリンダ1段積みで1.2 m 及びシリンダ2段積みで1.85 m) 以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。	容量 (定格荷重) 吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持																																																																																																																																										
		変更前	変更後																																																																																																																																									
名称	原子炉建屋クレーン	---	---																																																																																																																																									
種類	天井走行式	---	---																																																																																																																																									
容量	主巻 t: 125 副巻 t: 5 モノレールホイスト t: 10	---	---																																																																																																																																									
主要寸法	走行レール間距離 ^{*1} mm: [] クレーン本体ガード距離 mm: [] クレーン本体ガード幅 mm: [] クレーン本体ガード高さ mm: []	---	---																																																																																																																																									
材料	ガード: S550A ^{*5}	---	---																																																																																																																																									
個数	1	---	---																																																																																																																																									
取付箇所	系統名 (ライン名): [] 設置位置 尺: El. 54.50 m ^{*5}	---	---																																																																																																																																									
溢水防護上の区画番号	---	---	---																																																																																																																																									
溢水防護上の配慮が必要な高さ	---	---	---																																																																																																																																									
<p>事業変更許可において、本機器は第3類から第1類へ変更したため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p>		<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>																																																																																																																																										

仕様表記載例 14【機種：機械装置 (1/2)】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																							
<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-1 均質・ブレンド設備の仕様 (2号均質槽)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号均質槽</td> <td>区分</td> <td>均質・ブレンド設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>6基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td colspan="3">2号均質槽に収納する中間製品容器と他の臨界管理を必要とするユニットとの相互間隔50cm以上</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td colspan="3">第1類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td colspan="3">温度: 100℃ (中間製品容器の熱的制限値は121℃) 圧力: 3 kgf/cm² G</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">熱水加熱式 (間接加熱) 及び水冷式 (間接冷却)、装荷物: 中間製品容器1基/基</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3">内径: [] 以下 全長: [] 肉厚: [] 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼 []</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td colspan="3">液体 U F₆、固体 U F₆</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3"> (1) U F₆ 圧力が大気圧を超える均質槽出入口配管に配管カバーを設け、U F₆ が漏れ出した場合 (均質槽出口フランジ内 [] (クリティカル部分))、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急停止を発生し、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏えいの拡大を防止する。本インターロックを図-18に示す。 なお、漏えい拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急停止は二重化する。 (2) 加熱中に2号均質槽中間製品容器圧力又は2号均質槽内温度がそれぞれ 2.7kgf/cm² G、94℃を超える範囲で警報を発生し、自動的に加熱用熱水の供給を停止する。本インターロックを図-17に示す。 (3) 液化中の2号均質槽の移送及びシリンダ取換え中の他の槽の移送の誤操作により、液化中の2号均質槽より大気圧以上のU F₆ が交換中の槽を通じて大気と接触することを防止するため、液化中の2号均質槽の移送弁及び交換中の槽の移送弁が閉となるようにする。本インターロックを図-18に示す。 (4) U F₆ を2号均質槽内の中間製品容器に回収、充填する場合、2号均質槽内の中間製品容器重量を測定することにより、最大充填量 (4500 kg-U F₆) を超えない範囲で警報を発生し、充填を停止する。本インターロックを図-19に示す。 </td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-1、図-14</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p>	設備機器名称	2号均質槽	区分	均質・ブレンド設備	台数	6基			設置場所	2号発回均質室			臨界管理	2号均質槽に収納する中間製品容器と他の臨界管理を必要とするユニットとの相互間隔50cm以上			放射線防護	—			耐震	第1類			材料・構造 (温度、圧力)	温度: 100℃ (中間製品容器の熱的制限値は121℃) 圧力: 3 kgf/cm ² G			型式	熱水加熱式 (間接加熱) 及び水冷式 (間接冷却)、装荷物: 中間製品容器1基/基			主要寸法	内径: [] 以下 全長: [] 肉厚: [] 以上			主要材料	炭素鋼 []			性能	—			核燃料物質の状態	液体 U F ₆ 、固体 U F ₆			その他	(1) U F ₆ 圧力が大気圧を超える均質槽出入口配管に配管カバーを設け、U F ₆ が漏れ出した場合 (均質槽出口フランジ内 [] (クリティカル部分))、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急停止を発生し、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏えいの拡大を防止する。本インターロックを図-18に示す。 なお、漏えい拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急停止は二重化する。 (2) 加熱中に2号均質槽中間製品容器圧力又は2号均質槽内温度がそれぞれ 2.7kgf/cm ² G、94℃を超える範囲で警報を発生し、自動的に加熱用熱水の供給を停止する。本インターロックを図-17に示す。 (3) 液化中の2号均質槽の移送及びシリンダ取換え中の他の槽の移送の誤操作により、液化中の2号均質槽より大気圧以上のU F ₆ が交換中の槽を通じて大気と接触することを防止するため、液化中の2号均質槽の移送弁及び交換中の槽の移送弁が閉となるようにする。本インターロックを図-18に示す。 (4) U F ₆ を2号均質槽内の中間製品容器に回収、充填する場合、2号均質槽内の中間製品容器重量を測定することにより、最大充填量 (4500 kg-U F ₆) を超えない範囲で警報を発生し、充填を停止する。本インターロックを図-19に示す。			添付図	図-1、図-14			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称*</td> <td>—</td> <td>2号均質槽^{*12}</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>—</td> <td>熱水加熱式 (間接加熱) 及び水冷式 (間接冷却)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>—^{*9}</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*</td> <td>MPaG</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*</td> <td>℃</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類*</td> <td>—</td> <td>固体 U F₆、気体 U F₆、液体 U F₆</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> <td>cm 30以上^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>内径</td> <td>mm []</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全長</td> <td>mm []</td> </tr> <tr> <td></td> <td>肉厚</td> <td>mm []</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>鋼本体</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>個数*</td> <td>基</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>均質・ブレンド系^{*12}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床 (室名称)</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *7: 2号均質槽への装荷物は中間製品容器1基/基とし、中間製品容器搬送用子台車を有する設計とする。また、均質槽周囲に防護カバーを設置する設計とする。 *8: 本機器は、工程用モニタ UF 濃度高による UF₆ 漏えい拡大防止のインターロック、減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック、2号局所排気機2台停止による加熱停止のインターロック、均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロック、圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック、UF₆ シリンダ取換え時の誤操作防止のインターロック、地震発生時の UF₆ 漏えい防止インターロック、重量異常高による過充填防止インターロック、回収側槽内圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックの機能を有する設計とする。なお、漏えい拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急遮断弁は二重化する。 *9: 本機器は、シリンダを槽内に装着して UF₆ を取り扱う機器であり、槽自体に貯留する機能がないため「—」とする。 *10: 装荷物 (中間製品容器1本/基) を臨界管理の対象とする。 *11: 公称値を示す。 *12: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>		変更前	変更後	名称*	—	2号均質槽 ^{*12}	種類*	—	熱水加熱式 (間接加熱) 及び水冷式 (間接冷却)	容量	—	— ^{*9}	最高使用圧力*	MPaG	0.3	最高使用温度*	℃	100	流体等の種類*	—	固体 U F ₆ 、気体 U F ₆ 、液体 U F ₆	臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上 ^{*8}	主要寸法	内径	mm []		全長	mm []		肉厚	mm []	主要材料	鋼本体	[]	個数*	基	6	取付箇所	系統名 (ライン名)	均質・ブレンド系 ^{*12}		設置床 (室名称)	2号発回均質室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>様式-6,7</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td> ○閉じ込めの機能 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。 ○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。 ・UF₆ の漏えい対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF₆ が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF₆ を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。 </td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆ を内包する設備及び機器の主要な部分は不燃性材料 (鋼製) により製作するとともに、電気計装ケーブルは、可能な限り難燃性ケーブルを使用する。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○耐圧試験等 ・UF₆ を正圧で取り扱う中間製品容器、サンプルシリンダ及び計量シリンダを収納する均質槽は、高圧ガス保安法を満たす設計とし、ゲージ圧 0.45 MPa の耐圧試験により強度を確認したものを使用する。</td> <td>主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要材料 主要寸法</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>・加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超える範囲又は管理温度を超える範囲で、均質槽で中間製品容器内の UF₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超える範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。 (次ページにつづく)</td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	様式-6,7	他ユニットとの相互間隔	第十条 閉じ込めの機能	○閉じ込めの機能 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。 ○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。 ・UF ₆ の漏えい対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF ₆ が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF ₆ を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する設備及び機器の主要な部分は不燃性材料 (鋼製) により製作するとともに、電気計装ケーブルは、可能な限り難燃性ケーブルを使用する。	主要材料	第十五条 材料及び構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○耐圧試験等 ・UF ₆ を正圧で取り扱う中間製品容器、サンプルシリンダ及び計量シリンダを収納する均質槽は、高圧ガス保安法を満たす設計とし、ゲージ圧 0.45 MPa の耐圧試験により強度を確認したものを使用する。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要材料 主要寸法	第十八条 警報設備等	・加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超える範囲又は管理温度を超える範囲で、均質槽で中間製品容器内の UF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超える範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。 (次ページにつづく)	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0~20</td> <td>0~100</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL.20.30 m^{*2} EL.29.00 m^{*3}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>RB-3-1^{*1} RB-4-2^{*1}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>EL.20.30 m 以上^{*2} EL.29.00 m 以上^{*3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 対象計器は、H2E-D23-N002¹。 *3: 対象計器は、H2E-D23-N002²。</p> <p>【補足説明】 ・単一ユニットとしての臨界管理は装填する中間製品容器にて行う。</p>	変更前		変更後		検出器の種類	—	熱伝導式水素検出器	—	計測範囲	0~20	0~100	—	警報動作範囲	—	—	2	系統名 (ライン名)	—	格納容器内水素濃度	—	設置床	—	EL.20.30 m ^{*2} EL.29.00 m ^{*3}	—	溢水防護上の区画番号	—	—	RB-3-1 ^{*1} RB-4-2 ^{*1}	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL.20.30 m 以上 ^{*2} EL.29.00 m 以上 ^{*3}	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (区画、高さ等) は記載していない。</p>
設備機器名称	2号均質槽	区分	均質・ブレンド設備																																																																																																																																																								
台数	6基																																																																																																																																																										
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																										
臨界管理	2号均質槽に収納する中間製品容器と他の臨界管理を必要とするユニットとの相互間隔50cm以上																																																																																																																																																										
放射線防護	—																																																																																																																																																										
耐震	第1類																																																																																																																																																										
材料・構造 (温度、圧力)	温度: 100℃ (中間製品容器の熱的制限値は121℃) 圧力: 3 kgf/cm ² G																																																																																																																																																										
型式	熱水加熱式 (間接加熱) 及び水冷式 (間接冷却)、装荷物: 中間製品容器1基/基																																																																																																																																																										
主要寸法	内径: [] 以下 全長: [] 肉厚: [] 以上																																																																																																																																																										
主要材料	炭素鋼 []																																																																																																																																																										
性能	—																																																																																																																																																										
核燃料物質の状態	液体 U F ₆ 、固体 U F ₆																																																																																																																																																										
その他	(1) U F ₆ 圧力が大気圧を超える均質槽出入口配管に配管カバーを設け、U F ₆ が漏れ出した場合 (均質槽出口フランジ内 [] (クリティカル部分))、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急停止を発生し、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏えいの拡大を防止する。本インターロックを図-18に示す。 なお、漏えい拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急停止は二重化する。 (2) 加熱中に2号均質槽中間製品容器圧力又は2号均質槽内温度がそれぞれ 2.7kgf/cm ² G、94℃を超える範囲で警報を発生し、自動的に加熱用熱水の供給を停止する。本インターロックを図-17に示す。 (3) 液化中の2号均質槽の移送及びシリンダ取換え中の他の槽の移送の誤操作により、液化中の2号均質槽より大気圧以上のU F ₆ が交換中の槽を通じて大気と接触することを防止するため、液化中の2号均質槽の移送弁及び交換中の槽の移送弁が閉となるようにする。本インターロックを図-18に示す。 (4) U F ₆ を2号均質槽内の中間製品容器に回収、充填する場合、2号均質槽内の中間製品容器重量を測定することにより、最大充填量 (4500 kg-U F ₆) を超えない範囲で警報を発生し、充填を停止する。本インターロックを図-19に示す。																																																																																																																																																										
添付図	図-1、図-14																																																																																																																																																										
	変更前	変更後																																																																																																																																																									
名称*	—	2号均質槽 ^{*12}																																																																																																																																																									
種類*	—	熱水加熱式 (間接加熱) 及び水冷式 (間接冷却)																																																																																																																																																									
容量	—	— ^{*9}																																																																																																																																																									
最高使用圧力*	MPaG	0.3																																																																																																																																																									
最高使用温度*	℃	100																																																																																																																																																									
流体等の種類*	—	固体 U F ₆ 、気体 U F ₆ 、液体 U F ₆																																																																																																																																																									
臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上 ^{*8}																																																																																																																																																									
主要寸法	内径	mm []																																																																																																																																																									
	全長	mm []																																																																																																																																																									
	肉厚	mm []																																																																																																																																																									
主要材料	鋼本体	[]																																																																																																																																																									
個数*	基	6																																																																																																																																																									
取付箇所	系統名 (ライン名)	均質・ブレンド系 ^{*12}																																																																																																																																																									
	設置床 (室名称)	2号発回均質室																																																																																																																																																									
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																									
第四条 核燃料物質の臨界防止	様式-6,7	他ユニットとの相互間隔																																																																																																																																																									
第十条 閉じ込めの機能	○閉じ込めの機能 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。 ○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。 ・UF ₆ の漏えい対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF ₆ が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF ₆ を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																																																																																																																									
第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する設備及び機器の主要な部分は不燃性材料 (鋼製) により製作するとともに、電気計装ケーブルは、可能な限り難燃性ケーブルを使用する。	主要材料																																																																																																																																																									
第十五条 材料及び構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○耐圧試験等 ・UF ₆ を正圧で取り扱う中間製品容器、サンプルシリンダ及び計量シリンダを収納する均質槽は、高圧ガス保安法を満たす設計とし、ゲージ圧 0.45 MPa の耐圧試験により強度を確認したものを使用する。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要材料 主要寸法																																																																																																																																																									
第十八条 警報設備等	・加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超える範囲又は管理温度を超える範囲で、均質槽で中間製品容器内の UF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超える範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。 (次ページにつづく)	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																																																																																																																									
変更前		変更後																																																																																																																																																									
検出器の種類	—	熱伝導式水素検出器	—																																																																																																																																																								
計測範囲	0~20	0~100	—																																																																																																																																																								
警報動作範囲	—	—	2																																																																																																																																																								
系統名 (ライン名)	—	格納容器内水素濃度	—																																																																																																																																																								
設置床	—	EL.20.30 m ^{*2} EL.29.00 m ^{*3}	—																																																																																																																																																								
溢水防護上の区画番号	—	—	RB-3-1 ^{*1} RB-4-2 ^{*1}																																																																																																																																																								
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL.20.30 m 以上 ^{*2} EL.29.00 m 以上 ^{*3}																																																																																																																																																								

仕様表記載例 14 【機種：機械装置 (2/2)】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1377 287 1466 348">技術基準</th> <th data-bbox="1466 287 1813 348">機能要求② 様式-6,7</th> <th data-bbox="1813 287 1985 348">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1377 348 1466 1417">第十八条 警報設備 等</td> <td data-bbox="1466 348 1813 1417"> <p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 均質槽、製品シリンダ槽及び原料シリンダ槽のUF₆回収時に、UF₆シリンダ類への過充填を防止するため、最大充填量に達する前に警報を発するとともに、自動的に充填を停止するインターロックを設ける。 減圧槽が故障した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロックを設ける。 中間製品容器からのUF₆の漏えい等により均質槽内の圧力が通常使用圧力より有意に上昇した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロックを設ける。 局所排風機が2台停止した場合に、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する2号局所排風機2台停止による加熱停止インターロックを設ける。 槽間のガス移送時に、回収側の槽類の圧力が上昇(ただし大気圧以下)した場合に、移送元の移送停止及び回収側の槽の回収を停止する回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける。 地震発生時の液化の自動停止操作に替えて、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強~6弱程度(第2類の地震力に相当するおおよそ250Gal程度))を検知して警報を発し、現場の従事者を速やかに退避させるとともに、自動的に緊急遮断弁(均質槽元弁)及び局所排気ダクトのダンパを閉じ、均質槽、製品シリンダ槽、原料シリンダ槽、均質バジ系コールドトラップ及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を閉じ込めるインターロックを設ける。 UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタUF濃度高によるUF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 </td> <td data-bbox="1813 348 1985 1417"> 検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲 </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十八条 警報設備 等	<p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 均質槽、製品シリンダ槽及び原料シリンダ槽のUF₆回収時に、UF₆シリンダ類への過充填を防止するため、最大充填量に達する前に警報を発するとともに、自動的に充填を停止するインターロックを設ける。 減圧槽が故障した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロックを設ける。 中間製品容器からのUF₆の漏えい等により均質槽内の圧力が通常使用圧力より有意に上昇した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロックを設ける。 局所排風機が2台停止した場合に、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する2号局所排風機2台停止による加熱停止インターロックを設ける。 槽間のガス移送時に、回収側の槽類の圧力が上昇(ただし大気圧以下)した場合に、移送元の移送停止及び回収側の槽の回収を停止する回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける。 地震発生時の液化の自動停止操作に替えて、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強~6弱程度(第2類の地震力に相当するおおよそ250Gal程度))を検知して警報を発し、現場の従事者を速やかに退避させるとともに、自動的に緊急遮断弁(均質槽元弁)及び局所排気ダクトのダンパを閉じ、均質槽、製品シリンダ槽、原料シリンダ槽、均質バジ系コールドトラップ及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を閉じ込めるインターロックを設ける。 UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタUF濃度高によるUF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲		
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)								
第十八条 警報設備 等	<p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 均質槽、製品シリンダ槽及び原料シリンダ槽のUF₆回収時に、UF₆シリンダ類への過充填を防止するため、最大充填量に達する前に警報を発するとともに、自動的に充填を停止するインターロックを設ける。 減圧槽が故障した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロックを設ける。 中間製品容器からのUF₆の漏えい等により均質槽内の圧力が通常使用圧力より有意に上昇した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロックを設ける。 局所排風機が2台停止した場合に、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する2号局所排風機2台停止による加熱停止インターロックを設ける。 槽間のガス移送時に、回収側の槽類の圧力が上昇(ただし大気圧以下)した場合に、移送元の移送停止及び回収側の槽の回収を停止する回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける。 地震発生時の液化の自動停止操作に替えて、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強~6弱程度(第2類の地震力に相当するおおよそ250Gal程度))を検知して警報を発し、現場の従事者を速やかに退避させるとともに、自動的に緊急遮断弁(均質槽元弁)及び局所排気ダクトのダンパを閉じ、均質槽、製品シリンダ槽、原料シリンダ槽、均質バジ系コールドトラップ及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を閉じ込めるインターロックを設ける。 UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタUF濃度高によるUF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲								

仕様表記載例 15 【機種：核物質等取扱ボックス】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																												
<p>表-2 その他の主要な設備の仕様 (除染ハウス)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>除染ハウス</td> <td>区分</td> <td>除染設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度: 常温 圧力: _____</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅: 約 7100 mm 奥行: 約 4000 mm 高さ: 約 4200 mm</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS 41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>排気フード開口部の風速: 0.5 m/s以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>ケミカルドラップ (Na²²) の Na²² 交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-2、図-5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	除染ハウス	区分	除染設備	台数	一式			設置場所	除染室			境界管理			主要設備リストで展開。	放射線防護				耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: _____			型式				主要寸法	幅: 約 7100 mm 奥行: 約 4000 mm 高さ: 約 4200 mm		該当しないため、記載を削除。	主要材料	炭素鋼 (SS 41)			性能	排気フード開口部の風速: 0.5 m/s以上			核燃料物質の状態				その他	ケミカルドラップ (Na ²²) の Na ²² 交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。			添付図	図-2、図-5			<p>e. 核物質等取扱ボックス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>除染ハウス</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部風速 (排気フード)^{*3}</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td>—^{*11}</td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4000^{*8}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>7085^{*8}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4150^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*5}</td> <td>—</td> <td>除染室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6: 種別を必要としないため「—」とする。 *7: 本機器は、UF₆を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *8: 公称値を示す。 *9: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *10: 系統区別を必要としないため「—」とする。 *11: 除染ハウス内部の排気フードについては、これまでの機器点検等の実績を踏まえ、使用する用途がないこと及び今後も使用予定がないことから撤去する。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	除染ハウス	変更なし	種類 ^{*2}	—	— ^{*6}		開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5以上	— ^{*11}	境界管理	—	— ^{*7}		主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}	横	mm	7085 ^{*8}	高さ	mm	4150 ^{*8}	主要材料	本体	—	炭素鋼 ^{*9}	個数 ^{*4}	式	1	変更なし	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・除染ハウスはドラフトチェンバのような開口部を有するフードではなく、内部に人が入り、入口を閉めた状態で作業するものであり、「第十条 五号 密封されていない核燃料物質等を取り扱うフードは、その開口部の風速を適切に維持し得るものであること」は該当しない。また、ハウス内の可搬式の排気フードは、これまでの機器点検等の実績を踏まえ、使用する用途がないこと及び今後も使用予定がないことから撤去する。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p><発電炉類似設備要目表なし></p>	<p>備考</p>
設備機器名称	除染ハウス	区分	除染設備																																																																																																													
台数	一式																																																																																																															
設置場所	除染室																																																																																																															
境界管理			主要設備リストで展開。																																																																																																													
放射線防護																																																																																																																
耐震	第3類																																																																																																															
材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: _____																																																																																																															
型式																																																																																																																
主要寸法	幅: 約 7100 mm 奥行: 約 4000 mm 高さ: 約 4200 mm		該当しないため、記載を削除。																																																																																																													
主要材料	炭素鋼 (SS 41)																																																																																																															
性能	排気フード開口部の風速: 0.5 m/s以上																																																																																																															
核燃料物質の状態																																																																																																																
その他	ケミカルドラップ (Na ²²) の Na ²² 交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。																																																																																																															
添付図	図-2、図-5																																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																																													
名称 ^{*1}	—	除染ハウス	変更なし																																																																																																													
種類 ^{*2}	—	— ^{*6}																																																																																																														
開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5以上	— ^{*11}																																																																																																													
境界管理	—	— ^{*7}																																																																																																														
主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}																																																																																																													
	横	mm	7085 ^{*8}																																																																																																													
	高さ	mm	4150 ^{*8}																																																																																																													
主要材料	本体	—	炭素鋼 ^{*9}																																																																																																													
個数 ^{*4}	式	1	変更なし																																																																																																													
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}																																																																																																													
	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室																																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																														
	様式-6,7																																																																																																															
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																														

仕様表記載例 22a 【機種：計装／放管設備（計測装置）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																			
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p> <p>機器の仕様として申請していたため、検出器単体での仕様表の該当はなし。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">変更後</td> <td>均質槽内圧力計*1 検出器 -100 ~ 300 通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力(PaG) 以下 6 均質槽内圧力 2号発回均質室</td> </tr> <tr> <td colspan="2">変更前</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>kPaG</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1：本機器は、既存の設備である。</p>	変更後		均質槽内圧力計*1 検出器 -100 ~ 300 通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力(PaG) 以下 6 均質槽内圧力 2号発回均質室	変更前		-	名称			検出器の種類	-		計測範囲	kPaG		警報動作範囲	-		個数	台		系統名 (ライン名)	-		設置床 (室名称)	-		取付箇所			<table border="1"> <tr> <td>技術基準</td> <td>機能要求② 様式-6,7</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込め の機能</td> <td>○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ケラフを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。</td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備 等</td> <td>加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF₆を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF₆の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。</td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込め の機能	○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ケラフを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	第十八条 警報設備 等	加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">変更後</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">変更前</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>格納容器内水素濃度*1 熱伝導式水素検出器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0~20 0~100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>EL. 20.30 m*2 EL. 29.00 m*3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>RB-3-1*2 RB-4-2*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>EL. 20.30 m以上*2 EL. 29.00 m以上*3</td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：対象計器は、H2E-D23-N002A。 *3：対象計器は、H2E-D23-N002B。</p>	変更後		変更なし		変更前		-		名称				検出器の種類	格納容器内水素濃度*1 熱伝導式水素検出器			計測範囲	0~20 0~100			警報動作範囲	-			個数	2			系統名 (ライン名)	格納容器内水素濃度			設置床	EL. 20.30 m*2 EL. 29.00 m*3			溢水防護上の区画番号	-	RB-3-1*2 RB-4-2*3		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	EL. 20.30 m以上*2 EL. 29.00 m以上*3		<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（区画、高さ等）は記載していない。</p>
変更後		均質槽内圧力計*1 検出器 -100 ~ 300 通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力(PaG) 以下 6 均質槽内圧力 2号発回均質室																																																																																					
変更前		-																																																																																					
名称																																																																																							
検出器の種類	-																																																																																						
計測範囲	kPaG																																																																																						
警報動作範囲	-																																																																																						
個数	台																																																																																						
系統名 (ライン名)	-																																																																																						
設置床 (室名称)	-																																																																																						
取付箇所																																																																																							
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																					
第十条 閉じ込め の機能	○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ケラフを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																																																					
第十八条 警報設備 等	加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																																																					
変更後		変更なし																																																																																					
変更前		-																																																																																					
名称																																																																																							
検出器の種類	格納容器内水素濃度*1 熱伝導式水素検出器																																																																																						
計測範囲	0~20 0~100																																																																																						
警報動作範囲	-																																																																																						
個数	2																																																																																						
系統名 (ライン名)	格納容器内水素濃度																																																																																						
設置床	EL. 20.30 m*2 EL. 29.00 m*3																																																																																						
溢水防護上の区画番号	-	RB-3-1*2 RB-4-2*3																																																																																					
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	EL. 20.30 m以上*2 EL. 29.00 m以上*3																																																																																					

仕様表記載例 23d 【機種：建物・構築物（施設外漏えい防止堰）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																
<p>表-49 液体廃棄物の廃棄設備の仕様（堰）</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>堰</td> <td>区分</td> <td>放射性廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td>管理用水処理室</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>副露</td> <td>第2類*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (漏えい、圧力)</td> <td></td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>堰A 内のり： 1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ： 150 mm以上</td> <td>堰B 内のり： 10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ： 25 mm以上</td> <td>堰C 内のり： 4200 mm以上 × 2000 mm以上 高さ： 50 mm以上</td> <td>堰D 内のり： 16000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ： 30 mm以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="4">コンクリート</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>容量：0.64m³以上</td> <td>容量：0.71m³以上</td> <td>容量：5.87m³以上</td> <td>容量：9.83m³以上</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="4">※：建物の一部として設計している。</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="4">図-49、図-50</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>【補足説明】 ・全社作成要領において、「同一仕様の設備は、仕様表を1つにまとめてよい」としているが、本設備は仕様（寸法等）が異なるものを1つにまとめていたため、4つに見直した。（仕様表を4つに分割）</p>	設備機器名称	堰	区分	放射性廃棄物の廃棄設備	台数	一式			設置場所	除染室		管理用水処理室	臨界管理				放射線防護				副露	第2類*			材料・構造 (漏えい、圧力)			主要設備リストで展開。	型式				主要寸法	堰A 内のり： 1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ： 150 mm以上	堰B 内のり： 10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ： 25 mm以上	堰C 内のり： 4200 mm以上 × 2000 mm以上 高さ： 50 mm以上	堰D 内のり： 16000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ： 30 mm以上	主要材料	コンクリート				性能	容量：0.64m ³ 以上	容量：0.71m ³ 以上	容量：5.87m ³ 以上	容量：9.83m ³ 以上	核燃料物質の状態					その他	※：建物の一部として設計している。				添付図	図-49、図-50				<p>d. 建物・構築物</p> <table border="1"> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>堰 A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>堰^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³</td> <td>0.64 以上</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>-</td> <td>-^{*4}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>内のり</td> <td>1900 以上 × 5700 以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>mm 150 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰本体</td> <td>コンクリート^{*9}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>高放射性廃水処理系^{*7}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床 (室名称)</td> <td>除染室</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：建物（中央操作棟）の一部として設計する。 *7：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *8：高放射性廃水処理系のウラン廃水は、洗缶設備の空のシリンダ類（16 kg-U 以下）の洗浄水であり、臨界管理の対象外であるため、「-」とする。 *9：堰の内面には、液体状の核燃料物質等が漏えいし難い樹脂塗装を施す設計とする。</p>	名称 ^{*1}	堰 A		種類 ^{*2}	堰 ^{*3}		容量 ^{*3}	m ³	0.64 以上	臨界管理	-	- ^{*4}	主要寸法	内のり	1900 以上 × 5700 以上		高さ	mm 150 以上	主要材料	堰本体	コンクリート ^{*9}	取付箇所	系統名 (ライン名)	高放射性廃水処理系 ^{*7}		設置床 (室名称)	除染室	<p>技術基準</p> <table border="1"> <tr> <td>機能要求②</td> <td>機式-6,7</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込め の機能</td> <td>○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF₂の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF₂の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。</td> <td>主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₂を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </table> <p>【補足説明】 ・最新の共通 06 の整理に基づき、項目の削除を検討した。本施設の施設外漏えい防止堰（溢水防護のための堰は含まない）は全て液体廃棄物の廃棄設備の堰であり、臨界管理の対象外である。よって、施設外漏えい防止堰全てにおいて、臨界管理に対する要求がないため項目を削除する。</p> <p>【補足説明】 ・濃縮個別 30 の修正を反映し、個数に対する要求がないことから項目を削除する。</p> <p>【補足説明】 ・既認可（仕様表への記載なし）を踏まえ、注記とする。</p>	機能要求②	機式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込め の機能	○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF ₂ の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF ₂ の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。	主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計	第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₂ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p>3 堰その他の設備に係る次の事項</p> <p>(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰（放射性廃棄物運搬容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備）の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>種 類^{*2}</td> <td>-</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主 要 寸 法</td> <td>堰 の 高 さ</td> <td>mm 150 以上^{*2, *6}</td> </tr> <tr> <td>床面及び壁面の塗装の範囲^{*4}</td> <td>-</td> <td>床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>堰</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>床面及び壁面の塗装^{*4}</td> <td>エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設 置 床</td> <td>EL. 8.30 m^{*5}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1：浸水防護施設のうち内外部浸水防護設備と兼用する。 *2：浸水防護施設のうち内外部浸水防護設備に使用する場合の事項を記載。 *3：EL. 8.30 m からの高さ。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床・壁の塗装」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サイトバンカトラックエリア（一階）」と記載。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「15 cm 以上」と記載。</p>	名称	変更前	変更後	種 類 ^{*2}	-	堰	主 要 寸 法	堰 の 高 さ	mm 150 以上 ^{*2, *6}	床面及び壁面の塗装の範囲 ^{*4}	-	床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面	材 料	堰	鉄筋コンクリート	取 付 箇 所	床面及び壁面の塗装 ^{*4}	エポキシ樹脂		系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		設 置 床	EL. 8.30 m ^{*5}		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（区画、高さ等）は記載していない。</p>
設備機器名称	堰	区分	放射性廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																	
台数	一式																																																																																																																																			
設置場所	除染室		管理用水処理室																																																																																																																																	
臨界管理																																																																																																																																				
放射線防護																																																																																																																																				
副露	第2類*																																																																																																																																			
材料・構造 (漏えい、圧力)			主要設備リストで展開。																																																																																																																																	
型式																																																																																																																																				
主要寸法	堰A 内のり： 1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ： 150 mm以上	堰B 内のり： 10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ： 25 mm以上	堰C 内のり： 4200 mm以上 × 2000 mm以上 高さ： 50 mm以上	堰D 内のり： 16000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ： 30 mm以上																																																																																																																																
主要材料	コンクリート																																																																																																																																			
性能	容量：0.64m ³ 以上	容量：0.71m ³ 以上	容量：5.87m ³ 以上	容量：9.83m ³ 以上																																																																																																																																
核燃料物質の状態																																																																																																																																				
その他	※：建物の一部として設計している。																																																																																																																																			
添付図	図-49、図-50																																																																																																																																			
名称 ^{*1}	堰 A																																																																																																																																			
種類 ^{*2}	堰 ^{*3}																																																																																																																																			
容量 ^{*3}	m ³	0.64 以上																																																																																																																																		
臨界管理	-	- ^{*4}																																																																																																																																		
主要寸法	内のり	1900 以上 × 5700 以上																																																																																																																																		
	高さ	mm 150 以上																																																																																																																																		
主要材料	堰本体	コンクリート ^{*9}																																																																																																																																		
取付箇所	系統名 (ライン名)	高放射性廃水処理系 ^{*7}																																																																																																																																		
	設置床 (室名称)	除染室																																																																																																																																		
機能要求②	機式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																		
第十条 閉じ込め の機能	○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF ₂ の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF ₂ の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。	主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計																																																																																																																																		
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₂ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																		
名称	変更前	変更後																																																																																																																																		
種 類 ^{*2}	-	堰																																																																																																																																		
主 要 寸 法	堰 の 高 さ	mm 150 以上 ^{*2, *6}																																																																																																																																		
床面及び壁面の塗装の範囲 ^{*4}	-	床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面																																																																																																																																		
材 料	堰	鉄筋コンクリート																																																																																																																																		
取 付 箇 所	床面及び壁面の塗装 ^{*4}	エポキシ樹脂																																																																																																																																		
	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-																																																																																																																																		
	設 置 床	EL. 8.30 m ^{*5}																																																																																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-																																																																																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-																																																																																																																																		

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

仕様表記載例 23e 【機種：建物・構築物（保管・廃棄エリア）】

既認可の仕様表		仕様表		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																
<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-1 固体廃棄物の廃棄設備の仕様（保管廃棄区画）</p> <table border="1"> <tr><td>許可番号（日付）</td><td>平成20・12・16 原第3号（平成22年1月21日付）</td></tr> <tr><td>主要な設備及び機器の種類</td><td>放射性廃棄物の廃棄施設</td></tr> <tr><td>許可との対応</td><td>上記施設の構成機器</td></tr> <tr><td>設備・機器名称</td><td>固体廃棄物の廃棄設備</td></tr> <tr><td>設備・機器の区分</td><td>本体</td></tr> <tr><td>設置場所</td><td>ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン濃縮廃棄物室</td></tr> <tr><td>機器名</td><td>保管廃棄区画</td></tr> <tr><td>変更内容</td><td>新設</td></tr> <tr><td>台数</td><td>1区画（保管廃棄区画②） *1</td></tr> <tr><td>型式</td><td></td></tr> <tr><td>主要な構造材</td><td></td></tr> <tr><td>寸法</td><td>保管廃棄区画①（既設） 7440mm以上（東西）×31000mm以上（南北） 保管廃棄区画②（新設） 7440mm以上（東西）×44640mm以上（南北）</td></tr> <tr><td>温度、圧力</td><td></td></tr> <tr><td>その他の構成機器</td><td></td></tr> <tr><td>その他の性能</td><td></td></tr> <tr><td>核燃料物質の性状</td><td></td></tr> <tr><td>核燃料物質の漏洩防止</td><td></td></tr> <tr><td>火災等による損傷の防止</td><td></td></tr> <tr><td>耐震性</td><td></td></tr> <tr><td>材料及び構造</td><td></td></tr> <tr><td>閉じ込めの機能</td><td></td></tr> <tr><td>しゃへい</td><td></td></tr> <tr><td>換気</td><td></td></tr> <tr><td>核燃料物質等による汚染の防止</td><td></td></tr> <tr><td>安全上重要な施設</td><td></td></tr> <tr><td>搬送設備</td><td></td></tr> <tr><td>警報設備等</td><td></td></tr> <tr><td>廃棄施設</td><td></td></tr> <tr><td>放射線管理設備</td><td></td></tr> <tr><td>非常用電源設備</td><td></td></tr> <tr><td>その他事業許可で求める仕様</td><td>Bウラン濃縮廃棄物室の保管廃棄能力：約4400本（200Lドラム缶換算）</td></tr> <tr><td>添付図</td><td>図-1</td></tr> </table> <p>*1 保管廃棄区画①は、ドラム缶積載段数を2段から3段に変更するものであり、保管区画の寸法は、既認可済の内容（平成14・06・11 原第4号）から変更なし。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>		許可番号（日付）	平成20・12・16 原第3号（平成22年1月21日付）	主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設	許可との対応	上記施設の構成機器	設備・機器名称	固体廃棄物の廃棄設備	設備・機器の区分	本体	設置場所	ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン濃縮廃棄物室	機器名	保管廃棄区画	変更内容	新設	台数	1区画（保管廃棄区画②） *1	型式		主要な構造材		寸法	保管廃棄区画①（既設） 7440mm以上（東西）×31000mm以上（南北） 保管廃棄区画②（新設） 7440mm以上（東西）×44640mm以上（南北）	温度、圧力		その他の構成機器		その他の性能		核燃料物質の性状		核燃料物質の漏洩防止		火災等による損傷の防止		耐震性		材料及び構造		閉じ込めの機能		しゃへい		換気		核燃料物質等による汚染の防止		安全上重要な施設		搬送設備		警報設備等		廃棄施設		放射線管理設備		非常用電源設備		その他事業許可で求める仕様	Bウラン濃縮廃棄物室の保管廃棄能力：約4400本（200Lドラム缶換算）	添付図	図-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>固体廃棄物保管廃棄区画 (Bウラン濃縮廃棄物室)^{*9}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>本</td> <td>約4400^{*7} (200Lドラム缶換算)</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>—</td> <td>—^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>区画面積 高さ</td> <td>573以上 3.31以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)^{*5}</td> <td>—^{*10} — Bウラン濃縮廃棄物室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：種別を必要としないため「—」とする。 *7：200Lドラム缶3段積の保管状態における容量。 *8：本保管廃棄区画に保管廃棄する廃棄物は、最大ウラン含有量を加工施設保安規定に基づき制限することから、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *9：建物（ウラン貯蔵・廃棄物庫）の一部として設計することから「—」とする。 *10：系統区別を必要としないため「—」とする。</p> <p>【補足説明】 ・最新の共通 06 の整理に基づき、項目の削除を検討した。保管廃棄区画は建物一体（建物の一部）として設計するものであること及び要求事項が容量であることから、建物で示す仕様等の項目を削除する。</p> <p>【補足説明】 ・200Lドラム缶3段積み（パレット含む）の高さ</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	固体廃棄物保管廃棄区画 (Bウラン濃縮廃棄物室) ^{*9}	種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	容量 ^{*3}	本	約4400 ^{*7} (200Lドラム缶換算)	寸法	—	— ^{*8}	主要寸法	区画面積 高さ	573以上 3.31以上	主要材料	—	— ^{*10}	取付箇所	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) ^{*5}	— ^{*10} — Bウラン濃縮廃棄物室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様式-6,7</td> <td></td> <td>容量 主要寸法</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>○廃棄施設 本施設の放射性廃棄物の保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7		容量 主要寸法	第二十条 廃棄施設	○廃棄施設 本施設の放射性廃棄物の保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>建物 地上■階建(■エリア)</th> <th>地上■階建(■エリア)</th> <th>建物 地上■階建(■エリア)</th> <th>地上■階建(■エリア)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>n</td> <td>n</td> <td>n</td> <td>n</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>n</td> <td>n</td> <td>n</td> <td>n</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 廃棄物貯蔵庫の名称、種類、容量、主要寸法及び材料</p> <p>注記：*（ ）内は、貯蔵エリアを示す。 ：変更後の最右欄は今回増設分を示す。</p>	名称	変更前		変更後		建物 地上■階建(■エリア)	地上■階建(■エリア)	建物 地上■階建(■エリア)	地上■階建(■エリア)	種類	—	—	—	—	容量	—	—	—	—	寸法	n	n	n	n	高さ	n	n	n	n	材料	—	—	—	—	<p>材料については、建物の仕様表の主要材料で記載しているため、記載しない。</p> <p>主要寸法の外寸については、建物の仕様表の主要寸法(たて×横×高さ)で示しているため、保管エリア寸法を記載する。</p>
許可番号（日付）	平成20・12・16 原第3号（平成22年1月21日付）																																																																																																																																							
主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設																																																																																																																																							
許可との対応	上記施設の構成機器																																																																																																																																							
設備・機器名称	固体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																							
設備・機器の区分	本体																																																																																																																																							
設置場所	ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン濃縮廃棄物室																																																																																																																																							
機器名	保管廃棄区画																																																																																																																																							
変更内容	新設																																																																																																																																							
台数	1区画（保管廃棄区画②） *1																																																																																																																																							
型式																																																																																																																																								
主要な構造材																																																																																																																																								
寸法	保管廃棄区画①（既設） 7440mm以上（東西）×31000mm以上（南北） 保管廃棄区画②（新設） 7440mm以上（東西）×44640mm以上（南北）																																																																																																																																							
温度、圧力																																																																																																																																								
その他の構成機器																																																																																																																																								
その他の性能																																																																																																																																								
核燃料物質の性状																																																																																																																																								
核燃料物質の漏洩防止																																																																																																																																								
火災等による損傷の防止																																																																																																																																								
耐震性																																																																																																																																								
材料及び構造																																																																																																																																								
閉じ込めの機能																																																																																																																																								
しゃへい																																																																																																																																								
換気																																																																																																																																								
核燃料物質等による汚染の防止																																																																																																																																								
安全上重要な施設																																																																																																																																								
搬送設備																																																																																																																																								
警報設備等																																																																																																																																								
廃棄施設																																																																																																																																								
放射線管理設備																																																																																																																																								
非常用電源設備																																																																																																																																								
その他事業許可で求める仕様	Bウラン濃縮廃棄物室の保管廃棄能力：約4400本（200Lドラム缶換算）																																																																																																																																							
添付図	図-1																																																																																																																																							
	変更前	変更後																																																																																																																																						
名称 ^{*1}	—	固体廃棄物保管廃棄区画 (Bウラン濃縮廃棄物室) ^{*9}																																																																																																																																						
種類 ^{*2}	—	— ^{*6}																																																																																																																																						
容量 ^{*3}	本	約4400 ^{*7} (200Lドラム缶換算)																																																																																																																																						
寸法	—	— ^{*8}																																																																																																																																						
主要寸法	区画面積 高さ	573以上 3.31以上																																																																																																																																						
主要材料	—	— ^{*10}																																																																																																																																						
取付箇所	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) ^{*5}	— ^{*10} — Bウラン濃縮廃棄物室																																																																																																																																						
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																						
様式-6,7		容量 主要寸法																																																																																																																																						
第二十条 廃棄施設	○廃棄施設 本施設の放射性廃棄物の保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。																																																																																																																																							
名称	変更前		変更後																																																																																																																																					
	建物 地上■階建(■エリア)	地上■階建(■エリア)	建物 地上■階建(■エリア)	地上■階建(■エリア)																																																																																																																																				
種類	—	—	—	—																																																																																																																																				
容量	—	—	—	—																																																																																																																																				
寸法	n	n	n	n																																																																																																																																				
高さ	n	n	n	n																																																																																																																																				
材料	—	—	—	—																																																																																																																																				

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

仕様表記載例 23f 【機種：建物・構築物（火災区域構築物）】

既認可の仕様表	
【既認可仕様表の該当無し】	

仕様表			
変更前		変更後	
名称	種類	材料	主要寸法 (mm)
火災区域名称	番号		
	区分		
	火災区域名称		
	番号		
	区分		
	火災区域	A ウラン貯蔵室 ^{#1}	R-7
		B ウラン貯蔵室 ^{#1}	R-8
		C ウラン貯蔵室・B ウラン濃縮廃棄物室 ^{#1}	R-9
			壁
			150以上 (400 [°])
			150以上 (400 [°])
			150以上 (400 [°])
			鉄筋コンクリート

注記 #1：本設備は既存の設備である。
#2：公称値のうち最小のものを示す。

要求事項の整理		
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	<p>○火災の影響軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設内の UF₆ を内包する設備及び機器を収納する建屋は、建築基準法に基づく耐火建築物又は準耐火建築物とし、建屋の防火区画は、耐火性能を備えた防火壁、防火扉及び防火シャッターにより区画し、火災の延焼を防止する設計とする。 ・消防法に基づき設定する本施設内の防火区画のうち、UF₆ を内包する機器を設置する防火区画を火災区域として設定する。火災区域は、室内の火災荷重から導かれる等価時間（潜在的火災継続時間）以上の耐火能力を有する耐火壁（耐火シール、防火扉、防火シャッターを含む。）によって他の区域と分離する。 ・各火災区域は、耐火壁により隣接区域間の延焼を防止するか又は耐火壁、隔壁、間隔、消火設備等の組み合わせにより、隣接区域間及び火災区域内の延焼防止を行う設計とする。 	主要寸法

発電炉類似設備要目表				備考																																																																																																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th>名</th> <th>呼</th> <th>種</th> <th>材</th> <th>名</th> <th>呼</th> <th>種</th> <th>材</th> </tr> <tr> <th>火災区域 (区画) 名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>主要寸法 (mm)</th> <th>火災区域 (区画) 名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>主要寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋貯蔵棟 (R-1)</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-1)</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋貯蔵棟 (R-3)</td> <td>火災区域</td> <td>R-3</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-3)</td> <td>火災区域</td> <td>R-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-4)</td> <td>火災区域</td> <td>R-4</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-4)</td> <td>火災区域</td> <td>R-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-5)</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-5)</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-6)</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-6)</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-7)</td> <td>火災区域</td> <td>R-7</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-7)</td> <td>火災区域</td> <td>R-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-8)</td> <td>火災区域</td> <td>R-8</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-8)</td> <td>火災区域</td> <td>R-8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-9)</td> <td>火災区域</td> <td>R-9</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-9)</td> <td>火災区域</td> <td>R-9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-10)</td> <td>火災区域</td> <td>R-10</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-10)</td> <td>火災区域</td> <td>R-10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-11)</td> <td>火災区域</td> <td>R-11</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-11)</td> <td>火災区域</td> <td>R-11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-12)</td> <td>火災区域</td> <td>R-12</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-12)</td> <td>火災区域</td> <td>R-12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-20)</td> <td>火災区域</td> <td>R-20</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-20)</td> <td>火災区域</td> <td>R-20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-21)</td> <td>火災区域</td> <td>R-21</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-21)</td> <td>火災区域</td> <td>R-21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-22)</td> <td>火災区域</td> <td>R-22</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-22)</td> <td>火災区域</td> <td>R-22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-23)</td> <td>火災区域</td> <td>R-23</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-23)</td> <td>火災区域</td> <td>R-23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-24)</td> <td>火災区域</td> <td>R-24</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-24)</td> <td>火災区域</td> <td>R-24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-25)</td> <td>火災区域</td> <td>R-25</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-25)</td> <td>火災区域</td> <td>R-25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-26)</td> <td>火災区域</td> <td>R-26</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-26)</td> <td>火災区域</td> <td>R-26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-27)</td> <td>火災区域</td> <td>R-27</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-27)</td> <td>火災区域</td> <td>R-27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-28)</td> <td>火災区域</td> <td>R-28</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-28)</td> <td>火災区域</td> <td>R-28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-29)</td> <td>火災区域</td> <td>R-29</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-29)</td> <td>火災区域</td> <td>R-29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-30)</td> <td>火災区域</td> <td>R-30</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-30)</td> <td>火災区域</td> <td>R-30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-31)</td> <td>火災区域</td> <td>R-31</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-31)</td> <td>火災区域</td> <td>R-31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-32)</td> <td>火災区域</td> <td>R-32</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-32)</td> <td>火災区域</td> <td>R-32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-33)</td> <td>火災区域</td> <td>R-33</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-33)</td> <td>火災区域</td> <td>R-33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-34)</td> <td>火災区域</td> <td>R-34</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-34)</td> <td>火災区域</td> <td>R-34</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-35)</td> <td>火災区域</td> <td>R-35</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-35)</td> <td>火災区域</td> <td>R-35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-36)</td> <td>火災区域</td> <td>R-36</td> <td></td> <td>原子炉建屋貯蔵棟 (R-36)</td> <td>火災区域</td> <td>R-36</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				変更前				変更後				名	呼	種	材	名	呼	種	材	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	主要寸法 (mm)	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	主要寸法 (mm)	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋貯蔵棟 (R-1)	火災区域	R-1		原子炉建屋貯蔵棟 (R-1)	火災区域	R-1		原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋貯蔵棟 (R-3)	火災区域	R-3		原子炉建屋貯蔵棟 (R-3)	火災区域	R-3		原子炉建屋貯蔵棟 (R-4)	火災区域	R-4		原子炉建屋貯蔵棟 (R-4)	火災区域	R-4		原子炉建屋貯蔵棟 (R-5)	火災区域	R-5		原子炉建屋貯蔵棟 (R-5)	火災区域	R-5		原子炉建屋貯蔵棟 (R-6)	火災区域	R-6		原子炉建屋貯蔵棟 (R-6)	火災区域	R-6		原子炉建屋貯蔵棟 (R-7)	火災区域	R-7		原子炉建屋貯蔵棟 (R-7)	火災区域	R-7		原子炉建屋貯蔵棟 (R-8)	火災区域	R-8		原子炉建屋貯蔵棟 (R-8)	火災区域	R-8		原子炉建屋貯蔵棟 (R-9)	火災区域	R-9		原子炉建屋貯蔵棟 (R-9)	火災区域	R-9		原子炉建屋貯蔵棟 (R-10)	火災区域	R-10		原子炉建屋貯蔵棟 (R-10)	火災区域	R-10		原子炉建屋貯蔵棟 (R-11)	火災区域	R-11		原子炉建屋貯蔵棟 (R-11)	火災区域	R-11		原子炉建屋貯蔵棟 (R-12)	火災区域	R-12		原子炉建屋貯蔵棟 (R-12)	火災区域	R-12		原子炉建屋貯蔵棟 (R-20)	火災区域	R-20		原子炉建屋貯蔵棟 (R-20)	火災区域	R-20		原子炉建屋貯蔵棟 (R-21)	火災区域	R-21		原子炉建屋貯蔵棟 (R-21)	火災区域	R-21		原子炉建屋貯蔵棟 (R-22)	火災区域	R-22		原子炉建屋貯蔵棟 (R-22)	火災区域	R-22		原子炉建屋貯蔵棟 (R-23)	火災区域	R-23		原子炉建屋貯蔵棟 (R-23)	火災区域	R-23		原子炉建屋貯蔵棟 (R-24)	火災区域	R-24		原子炉建屋貯蔵棟 (R-24)	火災区域	R-24		原子炉建屋貯蔵棟 (R-25)	火災区域	R-25		原子炉建屋貯蔵棟 (R-25)	火災区域	R-25		原子炉建屋貯蔵棟 (R-26)	火災区域	R-26		原子炉建屋貯蔵棟 (R-26)	火災区域	R-26		原子炉建屋貯蔵棟 (R-27)	火災区域	R-27		原子炉建屋貯蔵棟 (R-27)	火災区域	R-27		原子炉建屋貯蔵棟 (R-28)	火災区域	R-28		原子炉建屋貯蔵棟 (R-28)	火災区域	R-28		原子炉建屋貯蔵棟 (R-29)	火災区域	R-29		原子炉建屋貯蔵棟 (R-29)	火災区域	R-29		原子炉建屋貯蔵棟 (R-30)	火災区域	R-30		原子炉建屋貯蔵棟 (R-30)	火災区域	R-30		原子炉建屋貯蔵棟 (R-31)	火災区域	R-31		原子炉建屋貯蔵棟 (R-31)	火災区域	R-31		原子炉建屋貯蔵棟 (R-32)	火災区域	R-32		原子炉建屋貯蔵棟 (R-32)	火災区域	R-32		原子炉建屋貯蔵棟 (R-33)	火災区域	R-33		原子炉建屋貯蔵棟 (R-33)	火災区域	R-33		原子炉建屋貯蔵棟 (R-34)	火災区域	R-34		原子炉建屋貯蔵棟 (R-34)	火災区域	R-34		原子炉建屋貯蔵棟 (R-35)	火災区域	R-35		原子炉建屋貯蔵棟 (R-35)	火災区域	R-35		原子炉建屋貯蔵棟 (R-36)	火災区域	R-36		原子炉建屋貯蔵棟 (R-36)	火災区域	R-36		<p>150以上 鉄筋コンクリート</p>
変更前				変更後																																																																																																																																																																																																																																																								
名	呼	種	材	名	呼	種	材																																																																																																																																																																																																																																																					
火災区域 (区画) 名称	区分	番号	主要寸法 (mm)	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	主要寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋貯蔵棟 (R-1)	火災区域	R-1		原子炉建屋貯蔵棟 (R-1)	火災区域	R-1																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋貯蔵棟 (R-3)	火災区域	R-3		原子炉建屋貯蔵棟 (R-3)	火災区域	R-3																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-4)	火災区域	R-4		原子炉建屋貯蔵棟 (R-4)	火災区域	R-4																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-5)	火災区域	R-5		原子炉建屋貯蔵棟 (R-5)	火災区域	R-5																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-6)	火災区域	R-6		原子炉建屋貯蔵棟 (R-6)	火災区域	R-6																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-7)	火災区域	R-7		原子炉建屋貯蔵棟 (R-7)	火災区域	R-7																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-8)	火災区域	R-8		原子炉建屋貯蔵棟 (R-8)	火災区域	R-8																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-9)	火災区域	R-9		原子炉建屋貯蔵棟 (R-9)	火災区域	R-9																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-10)	火災区域	R-10		原子炉建屋貯蔵棟 (R-10)	火災区域	R-10																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-11)	火災区域	R-11		原子炉建屋貯蔵棟 (R-11)	火災区域	R-11																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-12)	火災区域	R-12		原子炉建屋貯蔵棟 (R-12)	火災区域	R-12																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-20)	火災区域	R-20		原子炉建屋貯蔵棟 (R-20)	火災区域	R-20																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-21)	火災区域	R-21		原子炉建屋貯蔵棟 (R-21)	火災区域	R-21																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-22)	火災区域	R-22		原子炉建屋貯蔵棟 (R-22)	火災区域	R-22																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-23)	火災区域	R-23		原子炉建屋貯蔵棟 (R-23)	火災区域	R-23																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-24)	火災区域	R-24		原子炉建屋貯蔵棟 (R-24)	火災区域	R-24																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-25)	火災区域	R-25		原子炉建屋貯蔵棟 (R-25)	火災区域	R-25																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-26)	火災区域	R-26		原子炉建屋貯蔵棟 (R-26)	火災区域	R-26																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-27)	火災区域	R-27		原子炉建屋貯蔵棟 (R-27)	火災区域	R-27																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-28)	火災区域	R-28		原子炉建屋貯蔵棟 (R-28)	火災区域	R-28																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-29)	火災区域	R-29		原子炉建屋貯蔵棟 (R-29)	火災区域	R-29																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-30)	火災区域	R-30		原子炉建屋貯蔵棟 (R-30)	火災区域	R-30																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-31)	火災区域	R-31		原子炉建屋貯蔵棟 (R-31)	火災区域	R-31																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-32)	火災区域	R-32		原子炉建屋貯蔵棟 (R-32)	火災区域	R-32																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-33)	火災区域	R-33		原子炉建屋貯蔵棟 (R-33)	火災区域	R-33																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-34)	火災区域	R-34		原子炉建屋貯蔵棟 (R-34)	火災区域	R-34																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-35)	火災区域	R-35		原子炉建屋貯蔵棟 (R-35)	火災区域	R-35																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋貯蔵棟 (R-36)	火災区域	R-36		原子炉建屋貯蔵棟 (R-36)	火災区域	R-36																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>注記 #1：本設備は既存の設備である。 #2：公称値のうち最小のものを示す。</p>																																																																																																																																																																																																																																																												

仕様表記載例 23g 【機種：建物・構築物（防水区画構築物）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																						
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>1.6 溢水防護設備 a. 溢水防護設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td></td> <td>溢水防護堰（固定式）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>固定式</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ mm</td> <td></td> <td>100 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰本体</td> <td></td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>基</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>-</td> <td>-^{*1}</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）</td> <td>-</td> <td>1号中間室、2号中間室、1号発生回収室、1号均質室、2号発回均質室、ホット予備品室、付着ウラン回収廃棄物室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-^{*2}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-^{*3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：系統区別を必要としないため「-」とする。 *2：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「-」とする。 *3：溢水による火災の発生の可能性のある機器またはプラント監視に用いる機器ではないことから溢水防護上の配慮が必要な高さは「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称	-		溢水防護堰（固定式）	種類	-		固定式	主要寸法	高さ mm		100 以上	主要材料	堰本体		ステンレス鋼		個数	基	18	取付箇所	系統名（ライン名）	-	- ^{*1}	設置床（室名称）	-	1号中間室、2号中間室、1号発生回収室、1号均質室、2号発回均質室、ホット予備品室、付着ウラン回収廃棄物室	溢水防護上の区画番号	-	- ^{*2}	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- ^{*3}	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十二条 溢水による 損傷の 防止</td> <td>○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等 を設置する設計とする。 なお、堰の高さについては 水面の変動を考慮し た溢水高さを確保する設計とする。</td> <td>設置床（室名称） 主要寸法</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・濃縮個別 30 の修正を反映し、個数に対する要求がないことから項目を削除する。</p>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十二条 溢水による 損傷の 防止	○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等 を設置する設計とする。 なお、堰の高さについては 水面の変動を考慮し た溢水高さを確保する設計とする。	設置床（室名称） 主要寸法	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉種溢水 拡大防止堰 B1-1</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>-</td> <td></td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>300 以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>堰</td> <td>-</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td></td> <td>EL. 2.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 2.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名	称			原子炉建屋原子炉種溢水 拡大防止堰 B1-1	種	類	-		堰	主要寸法	高さ	mm		300 以上*	材料	堰	-		鉄筋コンクリート	取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-	設置床	-		EL. 2.00 m	溢水防護上の 区画番号	-		-		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		-	
		変更前	変更後																																																																																							
名称	-		溢水防護堰（固定式）																																																																																							
種類	-		固定式																																																																																							
主要寸法	高さ mm		100 以上																																																																																							
主要材料	堰本体		ステンレス鋼																																																																																							
	個数	基	18																																																																																							
取付箇所	系統名（ライン名）	-	- ^{*1}																																																																																							
	設置床（室名称）	-	1号中間室、2号中間室、1号発生回収室、1号均質室、2号発回均質室、ホット予備品室、付着ウラン回収廃棄物室																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	-	- ^{*2}																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- ^{*3}																																																																																							
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																								
第十二条 溢水による 損傷の 防止	○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等 を設置する設計とする。 なお、堰の高さについては 水面の変動を考慮し た溢水高さを確保する設計とする。	設置床（室名称） 主要寸法																																																																																								
			変更前	変更後																																																																																						
名	称			原子炉建屋原子炉種溢水 拡大防止堰 B1-1																																																																																						
種	類	-		堰																																																																																						
主要寸法	高さ	mm		300 以上*																																																																																						
材料	堰	-		鉄筋コンクリート																																																																																						
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-																																																																																						
	設置床	-		EL. 2.00 m																																																																																						
	溢水防護上の 区画番号	-		-																																																																																						
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		-																																																																																						

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

仕様表記載例 23h 【機種：建物・構築物（飛来物防護設備）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																														
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>1.7 竜巻防護設備 a. 飛来物防護設備</p> <table border="1" data-bbox="736 411 1353 846"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>竜巻防護扉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>手動片開き式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>218.3^{*1}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>850^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1926^{*1}</td> </tr> <tr> <td>表側鋼板厚さ</td> <td>mm</td> <td>8.2以上(16^{*1})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>表側鋼板</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>枚</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称		—	竜巻防護扉	種類		—	手動片開き式	主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}	横	mm	850 ^{*1}	高さ	mm	1926 ^{*1}	表側鋼板厚さ	mm	8.2以上(16 ^{*1})	主要材料	表側鋼板	—	SUS304	個数	枚	1	取付箇所	系統名(ライン名)	—	— ^{*2}	設置床(室名称)	—	2号発回均質室	<table border="1" data-bbox="1383 390 1982 961"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第八条 外部からの衝撃による損傷の防止</td> <td> <p>○竜巻防護設計</p> <p>(1) 建屋により防護する施設</p> <p>建屋により防護する施設を収納する2号発回均質棟の開口部(扉, シャッタ)のうち, 設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, シャッタ)には, 防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p> </td> <td> <p>主要寸法(厚さ)</p> <p>主要材料</p> <p>設置床(室名称)</p> </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	<p>○竜巻防護設計</p> <p>(1) 建屋により防護する施設</p> <p>建屋により防護する施設を収納する2号発回均質棟の開口部(扉, シャッタ)のうち, 設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, シャッタ)には, 防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p>	<p>主要寸法(厚さ)</p> <p>主要材料</p> <p>設置床(室名称)</p>	<p><発電炉要目表なし></p> <p>以下発電炉の基本設計方針抜粋</p> <p>2.3.3 設計方針</p> <p>(中略)</p> <p>防護措置として設置する防護対策施設としては, 防護ネット(硬鋼線材: 線径φ4 mm, 網目寸法40 mm), 防護鋼板(炭素鋼: 板厚16 mm 以上), 架構及び扉(炭素鋼: 板厚31.2 mm 以上)を設置し, 内包する外部事象防護対象施設の機能を損なわないよう, 外部事象防護対象施設の機能喪失に至る可能性のある飛来物が外部事象防護対象施設に衝突することを防止する設計とする。</p>	
		変更前	変更後																																															
名称		—	竜巻防護扉																																															
種類		—	手動片開き式																																															
主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}																																															
	横	mm	850 ^{*1}																																															
	高さ	mm	1926 ^{*1}																																															
	表側鋼板厚さ	mm	8.2以上(16 ^{*1})																																															
主要材料	表側鋼板	—	SUS304																																															
	個数	枚	1																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	—	— ^{*2}																																															
	設置床(室名称)	—	2号発回均質室																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																
	様式-6,7																																																	
第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	<p>○竜巻防護設計</p> <p>(1) 建屋により防護する施設</p> <p>建屋により防護する施設を収納する2号発回均質棟の開口部(扉, シャッタ)のうち, 設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, シャッタ)には, 防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p>	<p>主要寸法(厚さ)</p> <p>主要材料</p> <p>設置床(室名称)</p>																																																

